

蓼科情報は 誰もが心地よい
情報環境を提供します

リアルタイム管理の実現 シフト管理の充実
JUST FITな WEB勤怠管理システム



選べる2つのタイプ



Tateshina Intelligence Co., Ltd.

蓼科情報株式会社

〒115-0055 東京都北区赤羽西1丁目7番1号 パルロード3

TEL 03-5963-7281(代) FAX 03-5963-7287

ホームページ <http://www.tateshina.co.jp>

SAPRESS Vol.76 2013.4 Spring

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 住所／〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1864-10 SSC 5F TEL／048-660-1761 FAX／048-654-4504 URL／<http://www.sisia.or.jp>

SAPRESS

サイプレス 2013.4 Spring

Vol. 76



平成25年度事業計画並びに収支予算 承認される

彩の国ビジネスアリーナ2013開催報告
情報化アンケート結果報告
<第10回埼玉県内企業・第17回埼玉県内地方公共団体>

GALLERY

【桜咲く】



<三分咲き：3月中旬>



<隅田公園にて>



<満開の桜越しにSSCビル>

関東の桜は、去年よりも2週間程早い3月16日に開花となりました。3月22日には満開となり、4月3日には、当協会のロケ班による桜撮影に参りましたが、急速に発達した爆弾低気圧にもかかわらず、無事に撮影を行う事が出来ました。

(広報部会ギャラリー班)

GALLERY

【平年より早く…】



<上野公園：秋色桜>



<上野公園>



<天然記念物石戸藩桜：北本市>



SISIA

SAI-PRESS

Vol. 76

2013.4

spring

いつも新鮮 SISIA のコンテンツ

<http://www.sisia.or.jp/>広告掲載企業
一覧

掲載順

平成25年度事業計画並びに収支予算

承認される 2

彩の国ビジネスアリーナ2013 開催報告 6

地域連携事業

～IT 活用経営支援ネットワークで
IT 利活用の地産地消実現を～ その6 13

新卒者採用求人一覧 16

合同企業説明会開催 19

ANIA 東京サテライト交流会 19

システム技術部会 活動報告
平成24年12月～平成25年2月 20

<経営者セミナー>開催 22

会員企業訪問

株式会社リミックス 23

第19回 SISIA ボウリング大会 開催 24

私のストレス解消法

ぶぎんシステムサービス株式会社 小澤 雪乃 25

中小企業人材確保推進事業

第4回(最終年度)中小企業人材確保推進事業助成金に係る
事業効果、労働力需給及び雇用管理状況調査報告書 26

情報化アンケート結果報告 30

「第10回埼玉県内企業」

「第17回埼玉県内地方公共団体」

行事報告 56

会員企業動向 57

総務省からのお知らせ 58

「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)」の平成25年度研
究開発課題の公募について

2013年度 能力開発セミナーのご案内 59

編集後記・編集委員 60

●エレクス(株).....	10	●ノグチコンピュータサービス(株).....	44
●関東図書(株).....	11	●(株)日東テクノブレーン.....	46
●(株)アイネット.....	15	●(株)ソルパック.....	48
●AGS ビジネスコンピューター(株).....	21	●(株)ティー・アイ・シー.....	49
●(株)埼玉電算センター.....	28	●(株)ハツコーエレクトロニクス.....	50
●AGS(株).....	29	●(株)フジミック埼玉.....	51
●ぶぎんシステムサービス(株).....	29	●(株)三和システムフォーム.....	52
●中央情報専門学校.....	30	●三田電子ケイサン(株).....	55
●パシフィックシステム(株).....	39	●ミツイワ(株).....	55
●(株)デマンドアンドコミュニケーションズ.....	41	●蓼科情報(株).....	表 4
●日研システム(株).....	42		

平成25年度事業計画並びに収支予算 承認される

—地域における市場創造を目指し—



平成25年3月28日午後2時よりSSCビル会議室にて第5回理事会が開催され、平成25年度事業計画並びに収支予算書案が審議され承認されました。

本年度も当協会は業界を取り巻く環境変化に対応し、「公益社団法人」として地域経済発展・情報サービス産業振興の為に、地域における市場創造を目指し地域関係団体等と連携し、ビジネスチャンスの拡大・産学官交流事業・地域連携事業・人材の育成・経営セミナー・ビジネス交流会・共同求人・異業種交流会・システム技術研究・調査活動等を推進致します。

平成25年度事業計画書

自：平成25年4月1日～至：平成26年3月31日

1. はじめに

当協会は昨年4月、19年間にわたり地域情報サービス高度化、IT人材育成確保・ビジネス交流・産学官交流・国際交流・啓蒙普及・厚生労働等種々の事業を推進し、地域経済の発展に寄与してきたことが認められ「情報サービス産業団体」として全国的にも初めて「公益社団法人」として埼玉県知事の認定を受けました。平成25年度は公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会として2年目の事業年度となります。

昨年12月の総選挙により、政権交代が行われ自民党の安倍内閣が発足しました。安倍内閣は経済再生を第1課題に取り上げ、所謂「アベノミクス一大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略」の3つの矢を提起した。それを受け市場は円安・株高傾向となり円／ドルは90円を超える円安、日経平均は2012年11月から2013年2月にかけて12週連続の上昇となり日経ダウ平均は12,000円を超えるました。

さて、今年1月に発表された政府の「経済見通し」は以下となっている。

平成24年度の我が国経済は東日本大震災からの復興需要や政策効果の発現により、夏場にかけて回復に向けた動きが見られた。しかしその後世界経済の減速等を背景に輸出や生産が減少し、底割れが懸念される状況になった。こうした状況に対し政府は1月に「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を作成した。これにより平成24年度の国内総生産の実質成長率は1.0%。また、名目成長率は0.3%程度。平成25年度の我が国経済は、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、経済財政政策の推進等により着実な需要の発現と雇用創出が見込まれ、平成25年度の国内総生産の実質成長率は2.5%程度、名目成長率は2.7%程度になると見込む。

このような状況下、情報サービス産業はリーマンショック以降の長期低迷からようやく脱しつつあるものの、この間、顧客におけるIT利活用の「作る」



から「使う」へのパラダイムシフトの急速な進展や加速度を増す顧客企業のグローバル化などにより、国内情報サービス市場は縮小傾向にあります。IDC社の調査によると2013年の国内IT市場は、クライアント／サーバー技術を利用する「第2のプラットフォーム」からモビリティ、クラウド、ビッグデータ、ソーシャル技術いわゆる「第3のプラットフォ

ーム」を活用する市場へのシフトが顕著になる。2013年の国内IT市場(ハードウェア、ソフトウェア、ITサービスの合計)は前年比0.5%増の13兆6,000億円と予測している。ITサービスとソフトウェアの各市場は2~4%程度のプラス成長を維持するが、ハード市場は2%程度のマイナスと予測している。

2. 平成25年度事業計画<地域における市場創造を目指して>

(1) 人材育成事業

①教育・研修

(一社)情報サービス産業協会(JISA)等の助成金に基づく研修会開催

②e ラーニングの活用

③経営セミナー：年2回程度開催

・NPO法人埼玉ITC等と共に

④海外視察研修：時期に合せ実施

(2) 地域情報化推進事業

①「彩の国ビジネスアリーナ2014」

埼玉県の産業振興を図るために、当協会、埼玉県、(財)埼玉県産業振興公社、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉県信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫主催により、「ビジネスイベント」を開催

開催日：平成26年1月29日(水)・30日(木)の
2日間

開催場所：「さいたまスーパーアリーナ」

②「第18回彩の国さいたまホームページコンテスト2013」

県内外より広く応募者があり、当協会のイベントとして知名度も向上

公募期間：平成25年6月1日～10月15日

表彰式：平成26年1月22日(水)

③埼玉県・さいたま市等地方自治体との連携強化

- ・社会的課題及びIT関連施策に関する政策提言
- ・行政施策との連携強化

④地域連携事業「埼玉IT経営支援ネットワーク会議」

平成23年度からJISAの「地域連携事業」に参画、国・県・地元自治体・経済振興支援団体に呼びかけIT利活用による経済振興支援のネットワークを構築し、県内企業に地元IT企業との地産地消を推進する

⑤「ビジネス交流会」「セミナー」の開催

タイムリーなテーマを選定し、新ビジネス展開・会員相互のビジネス情報の交流を埼玉県産業振興公社・NPO法人埼玉ITC・異業種等の団体と連携し推進

- ・「異業種との連携強化」
…ビジネスチャンスの拡大
- ・「ビジネス交流会」開催
時期にあったテーマを選択し、会員企業及び異業種企業との交流会開催

(3) 調査研究事業

①地方公共団体情報化施策動向に関するアンケート調査

県下の地方公共団体を対象に情報化動向を把握し、地域情報化戦略立案や情報化計画策定等情報提供と地域情報サービス産業の技術力向上を目的として実施

②県内企業アンケート調査

県内企業を対象に情報化動向及び、情報化の及ぼす労働状況を把握し、これらの情報を提供することにより、地域情報サービス産業の技術力向上を目的として実施

③プロジェクト管理技術・開発方法・先進 IT の研究

- ・部会 月1回 年12回実施
- ・研修合宿 平成25年11月実施
- ・活動報告書作成－広報誌「SAI-PRESS」に掲載

(4) 啓蒙・普及事業

①広報誌「SAI-PRESS」の定期発行：

年4回 1月・4月・7月・10月

- ・協会の動向を外部にアピールし、協会の知名度をより一層向上させる為、県内唯一の情報サービス産業の公益社団法人として積極的な情報発信

②「SAI-PRESS 速報」の発信

- ・協会に送られた「情報・ニュース・案内」などを会員にメールにて適宜送達

③協会ホームページの運営について

- ・随时協会ホームページを更新

④県立工業高校ソフトウェア・ホームページコンテスト大会の後援

- ・全国大会出場学校選抜大会であり、人的・財政的支援

(5) 産・学・官交流事業

①情報サービス産業振興の為に、埼玉県をはじめ経済産業省・総務省・厚生労働省等及び JISA・全国地域情報産業団体連合会(ANIA)等関係諸団体

- ・埼玉大学をはじめとする県内大学、地域共同研究センター、産学官交流協議会等への参画、国際交流等を行う

- ・「経済産業省・総務省・埼玉県などの情報政策について」のセミナー開催
- ・「広域関東圏産業クラスター推進ネットワーク」に参画
- ・第34回 ANIA 長野大会：長野県長野市にて10月開催
- ・東京・神奈川・千葉・山梨及び近隣諸県の情報サービス産業協会との連携を強化
- ・「埼玉県 GIS 普及推進研究会」への参画
- ・(社)韓国テクノマート等との国際交流

②埼玉大学等県内大学との連携強化

- ・実務教育：IT 関連教育に経営者層の講師派遣
- ・IT 関連講座開設支援
- ・求人関係事業

③新年賀詞交歓会：平成26年1月22日(水)

パレスホテル大宮にて開催

諸官庁・諸団体関係者を招くと共に、協会会員の交流、拡大を図る「第18回彩の国さいたまホームページコンテスト2013」の表彰式を同日に行う

(6) 福利厚生事業

①協会会員の福利厚生事業

- ・第20回ボウリング大会：平成26年2月 開催

②チャリティー事業

- ・第18回チャリティゴルフコンペ：
平成25年9月 開催

(7) 労働環境改善・共同求人事業

埼玉労働局・埼玉県等との連携推進

①労働環境改善活動・調査広報・労働時間・福利厚生・求人等の諸活動

②求人活動事業・共同求人説明会：

平成26年3月開催

- ・共同求人 WEB 版 通年実施・会員企業求人案 内：平成25年4月「SAI-PRESS」に掲載
- ・産学交流会：学校と企業の就職交流会：平成25 年10月開催
- ③インターンシップの受け入れ
 - ・大学、専門学校、高等学校から職場実習受け入れ

(8) 会員増強運動

公益社団法人として地域経済振興のため、より広く強い活動基盤を確立するため
年間目標：10社

3. おわりに

地域経済振興のキーワードとして IT 技術の利活用は不可欠のものとして位置付けされております。ブロードバンドの多角的進展により「いつでも、どこでも、だれでも IT の恩恵を実感できる社会」の実現に向かって情報高度化の推進が求められている今、私達、地域 IT 業界・企業の社会的責務は大きなものとなっております。

埼玉県唯一の公益社団法人の情報サービス産業団体として社会の負託に応えるべく、地域における市場創造をめざして、事業を積極的に推進したいと考

えております。

会員の皆様をはじめ関係諸官庁・諸団体各位のご支援・ご協力お願い申し上げます。



平成25年度収支予算書 (25年4月1日から26年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 受取入会金	500,000	500,000	0
2 受取会費	14,300,000	12,260,000	2,040,000
3 事業収益	13,252,000	13,995,000	△ 743,000
4 受取補助金等	1,900,000	6,300,000	△ 4,400,000
5 雑収益	100,000	100,000	0
経常収益合計	59,604,000	65,810,000	△ 6,206,000
(2) 経常費用			
1 事業費	26,904,000	29,880,051	△ 2,976,051
2 管理費	3,148,000	3,943,339	△ 795,339
経常費用合計	33,200,000	37,766,729	△ 4,566,729
当期計上増減額	26,404,000	28,043,271	△ 1,639,271
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
(2) 経常外費用			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額	26,404,000	28,043,271	△ 1,639,271
一般正味財産期首残高	6,963,197	7,631,587	△ 668,390
一般正味財産期末残高	33,367,197	35,674,858	△ 2,307,661
II 指定正味財産増減の部			0
指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高	33,367,197	35,674,858	△ 2,307,661

彩の国ビジネスアリーナ2013

開催報告



今年で10回目の記念すべき「彩の国ビジネスアリーナ2013」が、1月30日(水)、31日(木)さいたまスーパーアリーナ（さいたま市）において埼玉県・公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会・財団法人埼玉県産業振興公社・地元6金融機関の主催にて開催されました。

本イベントは、中小企業の受注確保・技術力向上等を目的とし、広域的な企業ネットワーク形成による取引・技術交流の促進、新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。

本年は、昨年を上回る783小間の展示ブースを設け、「次世代産業」、「加工技術・部品」、「製品」、「ITソリューション」、「エネルギー・環境」、「グローバルビジネス」と、多様なゾーンを展開し、556企業・団体が出展しました。

また、「次世代産業ゾーン」では、招待出展企業として、「宇宙航空」、「次世代自動車」、「医療福祉」、「エネルギー・環境分野」の先端企業が最新の技術・製品を展示し、出展者や来場者との交流を図りました。

当協会は地域連携事業の一環として、従来の「IT・情報通信」を改名し「ITソリューションゾーン」を設営し、37社45小間が出展し、特設のプレゼンコーナーでは6社がプレゼンスを行うとともに「IT

何でも相談コーナー」を設置し、来場者からの質問・疑問に対応しました。また、IT利活用の推進・企業IT動向調査を例年と同様に実施しました。

来場者は2日間で16,478名（初日：8,823名、2日目7,664名）という過去最高を記録するなど、企業間取引における国内最大級の展示商談会となりました。

会場内のセミナー会場では当協会主催で「中小企業のビジネス革新」と題して、ソフトバンクモバイル社の首席エヴァンジェリストの中山五輪男氏による講演を開催し150人余の参加を得ました。

また、同時開催イベントとしてウーマノミクスフェア、産学連携フェアをはじめ、下請取引改善講習会、埼玉県ビジネス懇談会、ながのモノづくり技術展、九都県市合同商談会、産学連携促進会といった多数のイベントが催され、会場は大いに盛り上がりました。

ご出展・来場いただき、誠にありがとうございました！

次回「彩の国ビジネスアリーナ2014」をよろしくお願い致します。

■講演会 4つの講演会が開催されました



<司会 岩崎専務理事>

◎1月30日(水)

- ・テーマ「目標達成へのプロセス」
講師：プロサッカー監督 佐々木 則夫 氏
- ・テーマ「中小企業のビジネス革新」
講師：ソフトバンクモバイル(株)
首席エヴァンジェリスト 中山 五輪男 氏

◎1月31日(木)

- ・テーマ「NITTOKU マーケット戦略」
講師：日特エンジニアリング(株) 代表取締役社長 近藤 進茂 氏
- ・テーマ「JAXA タウンミーティング 日本の宇宙開発と宇宙産業」
講師：宇宙航空研究開発機構
有人宇宙環境利用ミッション本部参与 横山 哲朗 氏
産業連携センター次長 渡戸 満 氏



<聴衆風景>



<ソフトバンクモバイル社
首席エヴァンジェリスト 中山五輪男氏>

次ページ以降に来場者アンケート結果を掲載いたします。また、ITソリューションゾーン出展者アンケート結果は、「地域連携事業」の中で紹介いたします。併せてご覧ください。

彩の国ビジネスアリーナ2013 出展者アンケート調査集計

【調査対象】 彩の国ビジネスアリーナ2013出展者(大学・研究機関、招待出展企業除く) 457(企業・団体)

【調査方法】 書面によるアンケート調査(郵送/FAX回収)

【回答数】 213 **【回答率】** 46.6%

設問1 出展後の感想について

	2013	対2012	2012	2011
1. 満足	22.0%	7.6%	14.4%	25.5%
2. やや満足	44.5%	-2.9%	47.4%	37.9%
3. やや不満	29.7%	-2.3%	32.0%	34.8%
4. 不満	3.8%	-2.4%	6.2%	1.8%

設問2 展示ブースでの名刺交換枚数について

		初日	2日目
平均枚数	2013	28.9	27.2
	対2012	1.2	3.0
	2012	27.7	24.2
最多枚数	2013	250	200
	対2012	149	94
	2012	101	106
最少枚数	2013	3	4
	対2012	-2	4
	2012	5	0

設問3 出展の目的について

	2013	対2012	2012	2011
1. 自社PR	87.3%	13.2%	74.1%	53.2%
2. 新製品の発表	27.7%	11.0%	16.7%	10.2%
3. 受注確保	64.3%	6.9%	57.4%	27.9%
4. その他	15.5%	3.5%	12.0%	8.7%

設問4 事前のPR活動について

	2013	対2012	2012	2011
1. 開催案内リーフレット配布	68.1%	7.0%	61.1%	68.9%
2. 自社HPに掲載	36.6%	6.1%	30.6%	33.5%
3. その他	11.3%	5.7%	5.6%	9.9%
4. 特に行わなかった	23.0%	3.6%	19.4%	19.9%

設問6 次回の出展について

	2013	対2012	2012	2011
1. 出展したいと思う	90.5%	8.6%	81.9%	86.1%
2. 出展しないと思う	9.5%	-8.6%	18.1%	13.9%

設問7 経営上の課題について

	2013	対2012	2012	2011
1. 取引先拡大	86.4%	5.8%	80.6%	81.4%
2. 受注確保	78.9%	22.4%	56.5%	67.1%
3. 情報化への対応	12.2%	6.7%	5.6%	8.1%
4. HPの作成・更新	5.2%	-1.3%	6.5%	3.7%
5. 資金調達	9.9%	-0.3%	10.2%	9.9%
6. 設備投資	8.5%	4.7%	3.7%	5.0%
7. 新製品の開発	35.7%	15.3%	20.4%	20.5%
8. 人材育成・人材確保	27.7%	12.0%	15.7%	21.7%
9. 技術伝承	15.5%	8.1%	7.4%	7.5%
10. 後継者育成	9.4%	2.0%	7.4%	6.2%
11. 自立化	3.3%	-0.4%	3.7%	4.3%
12. 海外展開	16.0%	—	—	—
13. その他	2.3%	-3.2%	5.6%	6.8%

設問1 出展後の感想について／回答理由

(「満足」・「やや満足」回答)

- ・PRは出来たが、発注企業の来訪が少ない
- ・異業種との交流、手掛けている案件の感触など感じることが出来た
- ・多くの方にブースを見ていただき、興味を持っていただいた
- ・多くの来場者にアピール出来た。新たな接点も出来た
- ・思ったより大勢の方に来ていただき、技術のアピールが出来た
- ・加工技術・部品ゾーンへの集客対応として、全体レイアウトの工夫を検討して欲しい
- ・関心をもってもらった企業があった。製品の知名度がアップした
- ・具体的なお話を持ったお客様は少ないと感じたが、出展者間の横つながりが出来た
- ・具体的な商談になりそうな案件があつたため
- ・結果的には満足であるが、小間内床やレンタル備品が汚くてイメージダウン
- ・月末開催のため来場できない方もいた
- ・広域商談会が無かったことが残念
- ・小間が出入りの真下だったので、活気があった
- ・今回は大企業との名刺交換数が多かった
- ・探していた塗装の業者が見つかった
- ・昨年よりブースの位置が良かったのか、名刺交換の枚数が多かった
- ・自社PRになる。実物の加工品を見てもらえる
- ・自社製品を多くの人に知てもらうことが出来た
- ・受注につながると思われる企業数社を確保出来た
- ・受注につながるような商談がなかった

- ・出展者間交流、経済産業省の方々との交流が図れた
- ・出展料の安さ、思ったよりも多くの来場者、搬入出(車輌乗り入れ)の利便性
- ・商品の宣伝が出来て良かった
- ・情報収集、情報交換に有効だった
- ・新規製品アイディアと見込み客が多数発掘出来た
- ・数社から試作依頼を受けている
- ・前回に比べ立ち寄る人が増えた
- ・前回も出展したが、全体的に来場者数が少ない
- ・想定していた以上に引き合いがあった
- ・大企業の来訪があり、見積依頼を受けた
- ・多様なジャンルの来場者にアピールできた
- ・展示会への初めての出展でしたのでよい経験ができたと思います
- ・展示の仕方や来客への応対など、計画どおり出来た
- ・当社ブース周辺の来場が少なく感じた、ブースの場所をもう少し選択出来ればよかった
- ・日程が月末に当たった。2日目のお客様の入りが少なく感じられた。ウーマノミクスフェア来場者が多かったのでは?
- ・初出展でしたが、イメージした展示とアピールが出来た
- ・発注元となるような来場者の数が減少しているように感じた
- ・搬出の際、トラックを先に入れると積み込みに時間が掛かると思う
- ・人がばらけていてどの位の人が来場しているかよく分からない
- ・ひとり一人とはじっくり話せたが、ブース付近の人が例年より少なく感じた
- ・ブースへ立ち寄ってくれた方々の評価は気になるところだが、初めての出展にしては良く出来たと感じている。問題点が多々見つかったが次回につなげていきたい

- ・普段では話の聞けない業種の方々から話を聞けた
- ・弊社製品をプロモーションするよい機会となった
- ・マンネリ化していた営業活動に対し、良い刺激となった
- ・見積依頼、共同製作の打診、サンプル提供依頼等を受けた
- ・名刺交換が少なかった。テーマが雑然としていた
- ・もう少し集客が欲しかった。大手に逆提案できると聞いていたが、実際にできたのはホンダロックくらいで若干もの足りない印象
- ・予想以上の新規案件の立ち上がりと多くの来場者に立ち寄っていただいしたこと
- ・来場者数は増えているが、加工出展ゾーンは少なく感じた
- ・来訪者は少なかったが、今後に期待できる案件が得られた

(「不満」・「やや不満」回答)

- ・IT関連が盛況ではなかった
- ・PR不足だった
- ・一般的な来場者が少なく感じた
- ・思ったより出展小間に客が流れてこなかった
- ・開催日が月末だったので当社の顧客の来場が少なかった。中小企業中心の展示会なので月末は避けて欲しい
- ・開催日の設定（月末）について大いに不満
- ・会場のコーナー近くで人通りが少ない場所だった
- ・期待していた業種の会社が少なかった
- ・業界に合った来場者が少なかった
- ・月末・週中のため、現場責任者など外申しにくい開催日程だと思う
- ・月末開催で金曜日が含まれていなかつた
- ・月末開催では来場者も足を運びづらい
- ・顧客対象となる来場者が少ない
- ・小間位置が奥の角小間だったため、来場者の流れが良くなかった
- ・小間位置の割振りが平等ではないように感じた
- ・埼玉県だけでなく、他県から人を集めようアピールして欲しい
- ・埼玉の展示会なのに県外出展が多い
- ・昨年までの評価は「商談会がある点」だけに支えられていたのに、今回、事前のアナウンスもなく、お家の事情でキャンセルとなり、集客の努力にも疑問符がつく話を聞いた
- ・自社技術のPR方法・内容を間違えた
- ・自社ブースへの来場者が昨年より少なかった
- ・受注につながりそうな来客が少なく、売込みの訪問が多くなった
- ・商社等の来場が少なく、思ったほど効果が無かった
- ・大学のブースが多く、人通りが少なかったように思えた
- ・他県からの売込み・PRが非常に多くなっている
- ・展示ブースの位置が会場の奥で来場者が流れてこない
- ・当社ターゲットユーザーの来場が少ない
- ・当社ブースに来られた顧客ニーズの大半が当社の事業形態とマッチしていない
- ・取引に結び付く案件がなかった
- ・取引を希望するメーカーの来場が少なかったように思う
- ・初めて出展したが、来場者数が少ないと感じた
- ・初めての出展のため、要領が分からず準備が足らなかった
- ・ブースごとの細かい区分けをして欲しい
- ・ブース来場者減少・メーカーの購買調達ご担当者様の訪問なし
- ・方向性の違い
- ・マンネリ感があった
- ・申込みの不備にて商談会に参加できなかった
- ・来場が少ない。ビッグサイトのイベント開催日とずらして欲しい
- ・来場者（ブースへの立ち寄り）数が少なく、有効な話がなかった
- ・来場者数自体少ないと、テーマをもった来場者が少なかったように思う
- ・来訪者の大半が仕入先で、客先となる企業が少なかった

設問3 出展の目的について／「その他」の目的

- ・売上を増やすため
- ・外注の開拓、確保及び協業企業の募集
- ・金融機関、組合関係との付き合い
- ・市場調査と出展対応者の教育
- ・市場ニーズと当社製品の整合性を検証
- ・従業員の意識向上
- ・出展者間交流
- ・新規顧客開拓、新技術のアピール
- ・他社との交流。最新技術等の情報収集
- ・他社の動向リサーチ
- ・展示物の評価・要望を把握する
- ・展示用新製品の試作機開発に当たり、ユーザーニーズを把握する
- ・当会所属企業のPR
- ・当該地域のベンチャー・中小企業の販路拡大支援のため
- ・当社製品のPR（新製品だけではない）、県内取引先との連帯感醸成

- ・初の出展で、今後の出展効果を検討するため
- ・販路先の拡大、見込み客の発掘
- ・ビジネスパートナーの発掘
- ・鍛金について知つてもらひたかった

設問4 事前のPR活動について／「その他」の取組

- ・折込チラシ等に出展を記載
- ・会員企業にメルマガを通じて情報配信。facebook、twitter活用
- ・過去の来場者へのメール配信
- ・事前に顧客訪問し、出展をPRした
- ・社内にポスター掲示と来訪者に招待状の配布
- ・電話でアポイントメントを取った
- ・日刊工業新聞への広告掲載（出展PR含む）
- ・年賀状に出展の案内文を記載
- ・メール、電話による案内、PR
- ・来訪者に宣伝

設問5 自ら改善・反省すべき点について

- ・PRの積極性に欠けた、工夫が必要、POP等が少々見劣りした
- ・アテンションは1人より複数人の方がよい
- ・アピールする製品を絞り込む。段取りを決め、ルール化をして接客する
- ・一覧表化した製品カタログの準備が初日に間に合わず、2日目からの対応となってしまった
- ・いつも同じパンフレット配りになってしまふので、次回は内容を変えたい
- ・インパクトのある展示（アピールポイントが弱かった）
- ・お客様との会話がかみ合わない。うまく言葉が出てこない
- ・気軽に立ち寄れる小間づくりをすべきと思った
- ・寄せせパンダが欲しかった。あつと驚くようなもので寄せせしたい
- ・こちらから一方的に説明するのではなく、お客様の要望を引き出す対応
- ・今回、初めて組合と一緒に出展したが、やはり単独での方がよい気がした
- ・さらにインパクトのある、かつ分かりやすいサンプルが必要
- ・次回はプレミアムプランでの出展を検討したい
- ・自社商品のPRポスター等を作らなくてはと思った
- ・自社ブース内の展示内容の見直し
- ・事前に取引先等へ招待状を送付出来なかつた
- ・事前の企業招致活動（大手企業OBを活用して行ったが、さらに必要と考えます）
- ・社員にもっと自社製品の教育をしてから出展すべきだった
- ・出展エリアを再検討する必要がある
- ・出展者・来場者の多くが製造業だったため、同業種向けの製品・サービスの紹介が出来ればよかったです
- ・出展ではなく、外注先探しで来場した方が良かったように思う
- ・出展ブースが狭く、上手くPR出来なかつたように思えるので、次回はブースを増やす予定
- ・準備の段取りが上手くいかず、直前にバタバタした
- ・自動車産業関連ブースに活気がなかった
- ・招待状の配布数を増やせばよかった。名刺の管理をしていなかった
- ・招待状発送後のフォローが足りなかつた
- ・商品ディスプレイをもっと上手に。自社PRをもっと上手に
- ・照明が暗かった。展示物が目立たない
- ・新製品が展示出来ず、昨年と同じ展示内容になってしまった
- ・スタッフの説明不足
- ・製品の展示だけでなく、当社の得意、提案部品等メインにしていきたい
- ・説明員が多すぎた
- ・他の出展者との交流を図るべきだった
- ・他ブースでも同じ製品を展示していた。事前に分かっていれば対応した
- ・展示会に参加経験があつても、お客様への接客方法がよく分からぬ
- ・展示会の価値を高めるためには、妥協して物言わぬのではなく、むしろ苦言を呈するべき
- ・展示内容をもっと工夫し、不特定多数の目を引くものにすべき
- ・展示場所の重要性
- ・展示パネル等の工夫、展示テクニック向上が必要
- ・展示品に当てる照明の位置が良くなかったので、より展示品がクローズアップされる照明を考えたい
- ・展示物にもう少し動きを加えるなど、人目につく展示品も必要かと思った
- ・展示物一つ一つに説明書きを付けなかつたが、説明者が上手く説明出来なかつたため、簡単な説明書きくらいは必要であると感じた
- ・初めての出展のため、要領が分からず準備が足らなかつた
- ・パネルの展示をもっと多くすべきだった
- ・パネルのデザインやサンプル配置を検討したい
- ・搬入・出の段取りを改善したい
- ・一目見てイメージできるようなブースのレイアウト・デザインの改善
- ・ブースデザインの向上、上映動画の改善、お客様の声の開示
- ・ブース内のスペースを上手く活用出来ていなかつた

- ・ホームページへのリンク、資料・粗品を持ち帰りやすくする工夫
- ・目立つブースづくり。製品サンプルの改善。アピール方法の改善
- ・目を引く展示物、総合力をアピールする内容が不足していた
- ・申込みの不備にて商談会に参加できなかった
- ・もう少しアピール出来る展示用の製品を作るべきだと感じた
- ・もう少し多くの招待状を配布すべきだった
- ・もっと技術力が感じられるよう展示品に工夫が必要
- ・要求された内容のパンフレットを準備していなかった
- ・より集客出来る効果的なブースづくりのための工夫・改善
- ・来場者のトレンドとのミスマッチ
- ・来場者の目を引く展示が出来なかつたので次回は改善したい

設問6 次回の出展について／回答理由 (「出展したいと思う」回答)

- ・1日平均67枚の名刺交換実績は魅力的(他展示会では平均40枚程度)
- ・PR活動の一環として考えている
- ・色々な企業と会えて受注に結び付けるチャンスだから
- ・営業戦略の一つとして積極的に参加したい
- ・多くの方々にPR出来る、商品の良さを伝えたい
- ・企業にとって知名度は重要であり、展示会出展を通じて築いていきたい
- ・企業や技術を周知される可能性を考え
- ・業界動向の把握、情報交換を行っていく
- ・距離や会期、費用面で出展しやすい
- ・具体的なテーマを持ったお客様の来訪が多かった
- ・継続して出展することで知名度や信頼を得ることが出来る、また成果ができる
- ・県内での他社の技術を見られる良い場であり、競争力もつけられる、また県内顧客が多いため
- ・今年より来年、来年より再来年と、もっとマッチできる商品を展示できると思う
- ・今回、具体的な案件を持ち込まれたから
- ・今回、たくさんのお客様に自社PRできたので、また機会があれば出展したい
- ・今回、初めての出展でしたので、今後はもっと良いものを作りたい
- ・今回の出展を反省し、多くの企業に自社をPRしたい
- ・今回はほとんど反響がないので、次回は工夫したい
- ・埼玉県近郊の中小企業にも来訪いただき、新規案件をいただける
- ・さらなる自社PRの場、情報収集の場として期待する。市場開拓を目指したい
- ・次回も出展場所が悪ければ、その次の出展は検討すると思う
- ・事業拡大の節目とするため
- ・自社PR、新規顧客獲得の場として期待している
- ・自社PRを継続して結果につなげたいというのが会社方針のため
- ・自社製品・サービスのPRの機会として有効と考えるため
- ・自動車業界に絞った内容であれば出展したい
- ・売上確保のための出展は重要
- ・出展・来場される方のビジネス意識が高い
- ・出展を継続することに意味があると思う
- ・首都圏の市場に魅力を感じる
- ・新規顧客の獲得に向けて機会を得たいと思うため
- ・新規のお客様と交流出来たから
- ・製品の知名度アップと信頼性の確保
- ・大規模な県内イベントであり、開催地へのアクセスが良いため
- ・多数の人と名刺交換出来る
- ・短時間で多くの見込み客を発掘出来る

- ・問合せもあり、一定の成果はあったと思うから
- ・特に今回のような共同出展での参加が理想
- ・飛び込み営業より有益、互いにマッチングを求めてるので話しやすい
- ・取引先数拡大、異業種との交流のため
- ・年々変化していく自社のアピールの場であるから
- ・初めての出展だったが、自社PRのため継続したい
- ・費用対効果で十分なメリットがあったから
- ・費用を掛けなければ出展者も多く、良い機会になる
- ・ブース訪問～名刺交換～後日訪問など、貴重な場となるから
- ・訪問してもなかなか会えない企業の方に自社の技術をアピール出来た
- ・毎年出展しており、規模的にも弊社に合っていると思うため
- ・床塗装という分野をもっと広めたい
- ・予想を上回る小間来訪があり、成果が上げられた
- ・来場者のみならず、出展企業との情報交換を重視する

(「出展しないと思う」回答)

- ・搬入・出がとても大変
- ・出展企業が当社と合わない
- ・新しい案件が見つからない
- ・外注探しで来場したい
- ・開催日が1月、月末では問題
- ・商談にまで結びつかない
- ・方向性の違い
- ・他の展示会を検討したい
- ・経済情勢が悪く、受注につながらない
- ・成果が見込めないと
- ・来場者数が少ない
- ・あまり効果がない
- ・業種が違うため

設問7 経営上の課題について／「その他」の課題

- ・新しいビジネスモデルの構築
- ・売上を何とか増やしていきたい
- ・協業企業の開拓
- ・事業承継
- ・調達先の確保

設問8 事務局に対する意見・要望等

- ・1小間と2小間の中間サイズの出展スペース提供があると便利です
- ・2日間開催であれば、木・金と週末に掛かる曜日設定にして欲しい、また開催時間は2日間とも17時まで良い
- ・アーナーの受付が本展示会のことを知らなすぎて案内を間違えたため言い争いになった
- ・エレベーターを使わなくても搬出出来るようにして欲しい
- ・卸・小売業のお客様を増やして欲しい
- ・会場内の飲食は禁止のはずが、ブース横の休憩スペースで食事をしている人がいた
- ・会場内の展示ブースレイアウトに不公平感を感じる
- ・会場配置図など、会期に余裕のある情報発信をすべき
- ・関東、東北、関西と幅広く、16,000名来場いただいたが、展示会規模より、もっと多く集客できるように事前PRをお願いしたい（リードエグジビションジャンパーンの手法）
- ・喫煙所から臭いが流れてきた。ウーマノミクスフェア近くに喫煙所が設置されていたが、見直した方が良いと思う
- ・九都県市合同商談会が同時開催されていたが、当該地域は関係なかった



Cloud Solution Provider

私達の願いは情報サービスで人類の未来に貢献する事です。

お客様の目的に合わせて、柔軟なITリソースを提供し、「計画・設計・運用・効果測定」まで含めた、すべてのプロセスをサポートします。

タブレットもスマホも得意です。



WEBソリューション・システム開発 / デザイン制作 / スマートフォン / アプリ開発 (iPhone、Android) / AR開発 (拡張現実システム) / テスト事業

ので、出展者が参加できる商談会の企画を期待します

- ・商談会への参加は出展者のみに限定し、発注企業には小間まで足を運んでもらいたい
- ・月末だと出展側も前後の動きが忙しいので、2月の開催にして欲しい
- ・県外出展あり、ウーマノミクスフェアありと従前のイベントの趣旨が薄れてきた
- ・今年はウーマノミクスフェアも一緒でしたが、そちらのお客様を誘導できるようにして欲しかった
- ・今年は同時開催イベントなど盛り沢山で、明るい雰囲気を感じた
- ・小間内の電源、蛍光灯、パンチカーペット位は標準で付けて欲しい（逆にテーブル、椅子はオプションレンタルで良い）
- ・今回、2小間で出展したが、位置が角ではなかった。出来れば角がよかった
- ・今回のような展示会の年間開催回数を増やして欲しい
- ・懇談会をもっと分かりやすくして欲しかった。参加できなかった
- ・埼玉県だけでなく、関東圏内での顧客にもPRしていきたい
- ・昨年まであった企業情報を取りまとめた冊子を復活して欲しい
- ・次回も出展を考えており、連続出展は参加費を割り引くなど検討して欲しい
- ・社名板のキャッチフレーズの文字が小さく見えづらかった
- ・集客のため、特殊なコーナーを設けたらどうか（新技術や特許コーナーなど）
- ・出展者一覧の団体名の下に参加企業名を入れて欲しい。企画展示ゾーンを両端にすれば来場者が全体に流れるとと思う
- ・出展者間の営業になっている感じなので、上場企業にアピール（来場して欲しい）
- ・出展者控室は座る席が少ないため、食事をとる場所がない
- ・出展料の引き下げ、または上げずに据え置きにして欲しい
- ・商談会の併催は、今後も継続して欲しい
- ・食品・食品機械製造の分野も展開されたらもっと面白いと思います
- ・スタッフが大勢いたが、出入口すら把握しておらず、前日準備で1時間以上歩き回られた。アリーナチケット売場の受付嬢がとても高圧的な態度で馬鹿にされたようで不快な思いをした。アリーナ側に注意して欲しい
- ・前日の搬入指定時刻が遅く、準備に十分な時間をとれなかった。第3駐車場への案内が分かりにくかった

- ・地下駐車場からの搬入・出が手引書の内容と異なり不便を感じた
- ・通路部分にはテーブル・椅子は置かない方が良いと思う、また通路に出た低いノボリも禁止してほしい
- ・テーマ・ゾーンの見直しや、展示内容の絞り込みが必要
- ・電気自動車やJAXA、佐々木監督の講演などは良かった
- ・展示内容が同じ場合に事前に連絡をいただけすると助かります
- ・展示ブースから離れず飲み物を購入できるよう、会場内をワゴン等で回ってくれるとありがたい
- ・東京ビッグサイトで展示会が開催される日は避けて欲しい
- ・同時開催イベントの配置を参考してください。人の流れが一定するような配置が必要
- ・当社のようにデモンストレーションを行う会社には角小間が必要です
- ・年に2、3回同様イベントを実施して欲しい
- ・年々、認知度が上がっていると思うので、さらに拡大して実施して欲しい
- ・ノボリを使う場合は、高い位置に設置するよう制限して欲しい。隣でノボリを付けられると、説明している際にひらひらと目につき気になってしまふ
- ・搬出が予定時刻より大幅に遅れた。他は概ね順調だった
- ・搬出時の駐車場の対応が酷かった。危うく第4駐車場に取り残されたところだった。駐車場管理者の対応が酷いので、次回は必ずどうにかして欲しい。先着順との記載は無かったような気がするし、プレミアム特典もなく、2時間以上待たされた
- ・搬出の段取りをもう少しスマーズに出来ると良い。搬入・出方法が分かりにくかった
- ・搬出の手順書が分かりやすく、良かった。
- ・備品レンタル料が高すぎる
- ・弊社の製品を使用する会社関係者の来場者数が知りたい
- ・弊社は群馬県伊勢崎市にあります、今回、商談会への参加案内をもらえなかつたので、次回はもらえるようにして欲しい
- ・ポスターを早い時期に提供して欲しい
- ・来場される方のことを考えれば、開催日は月末を外した方が良い。埼玉の企業を優先して出展させるべき
- ・来場者を増やすためにビッグサイトのイベントと日程が重ならないようにして欲しい

彩の国ビジネスアリーナ2013 来場者登録情報集計

勤務地都道府県別内訳

埼玉県	55.9%
東京都	28.4%
群馬県	3.3%
神奈川県	3.1%
千葉県	1.7%
栃木県	1.6%
茨城県	1.5%
長野県	1.3%
その他	3.3%

年齢別内訳

40代	27.7%
50代	24.2%
30代	20.4%
60代～	18.4%
20代	8.4%
～10代	0.9%

役職別内訳

経営者・役員クラス	29.6%
一般社員	24.7%
部長・次長クラス	16.1%
課長クラス	15.8%
係長・主任クラス	13.7%

勤務先従業員数規模別内訳

	2013	2012	2011
～49人	44.7%	36.8%	36.5%
50～99人	14.0%	9.9%	9.0%
100～299人	15.8%	21.1%	21.2%
300～499人	6.0%	32.2%	33.3%
500～999人	6.6%	—	—
1,000人～	12.9%	—	—

写真集・歌集・句集・画集・小説・自分史・エッセイなど



関 東 書 株 式 会 社



〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10
TEL 0120・161092 http://www.kanto-t.co.jp

あなただけの
1冊を創ります

職種別内訳

	2013	2012	2011
営業	35.8%	36.3%	32.5%
経営企画・経営管理	10.5%	20.0%	20.4%
製造	9.7%	5.0%	5.7%
開発・設計	7.9%	1.9%	2.5%
資材・購買・調達	4.9%	6.3%	7.6%
マーケティング	3.9%	3.8%	1.9%
研究	2.3%	4.4%	12.1%
生産技術	1.8%	2.5%	6.4%
情報システム	1.7%	—	—
生産管理	1.3%	—	—
品質管理・検査	0.8%	0.6%	1.3%
環境・安全	0.6%	—	—
工事・積算	0.5%	—	—
保全・工務・設備管理・施設管理	0.2%	—	—
ロジスティクス	0.2%	—	—
一般事務等	18.0%	19.2%	9.6%

催しを知ったきっかけ

	2013	2012	2011
主催者からの招待状	24.8%	26.5%	36.1%
出展者からの招待状	24.1%	37.7%	32.5%
公式ホームページ	13.3%	19.1%	15.7%
主催者からのメール配信	5.3%	—	—
新聞	2.8%	6.8%	9.0%
ポスター	1.8%	—	—
雑誌	0.8%	—	—
その他	27.1%	9.9%	6.6%

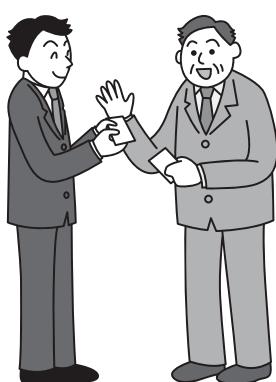
来場の目的

	2013	2012	2011
購入先の開拓・情報収集	28.8%	31.5%	22.4%
営業先の開拓・情報収集	25.9%	21.6%	26.2%
異業種の情報収集	10.6%	33.3%	21.4%
招待出展企業展示ブースの視察	10.3%	3.7%	1.0%
同業種の情報収集	6.4%	27.8%	14.8%
講演会への参加	4.0%	11.7%	4.8%
その他	14.0%	19.2%	9.5%

勤務先業種別内訳

	2013	2012	2011
製造業	57.9%	43.8%	58.5%
金属製品	9.8%	9.4%	8.8%
電気機械器具	9.7%	8.1%	9.4%
精密機械器具	4.4%	2.5%	5.0%
輸送用機械器具	4.2%	8.1%	5.7%
プラスチック製品	3.9%	0.6%	8.2%
一般機械器具	3.8%	2.5%	5.0%
化学	2.5%	2.5%	0.6%
出版・印刷	1.7%	1.9%	1.3%
鉄鋼	1.3%	1.3%	1.3%
非鉄金属	1.1%	0.6%	1.3%
ゴム製品	1.0%	0.0%	1.3%
食料品	1.0%	1.3%	1.3%
パルプ・紙・紙加工品	0.7%	0.6%	1.3%
窯業・土石製品	0.5%	0.0%	0.0%
繊維	0.3%	0.0%	0.0%
衣服・その他繊維製品	0.3%	—	—
石油・石炭製品	0.3%	0.0%	0.0%
木材・木製品	0.3%	0.0%	0.6%
家具・装備品	0.2%	0.0%	0.0%
医薬品	0.2%	—	—
飲料・たばこ・飼料	0.1%	—	—
革製品	0.1%	0.0%	0.0%
その他	10.5%	4.4%	7.5%

	2013	2012	2011
非製造業	42.1%	56.3%	41.5%
商社	7.8%	—	—
官庁・地方自治体・旧公団・公社	5.7%	—	—
情報通信・IT	4.1%	2.5%	1.9%
大学・団体・研究機関	2.5%	—	—
エンジニアリング	1.1%	—	—
運輸	1.0%	0.6%	0.6%
建設	0.9%	3.1%	1.3%
サービス(検査・メンテナンス)	0.7%	11.9%	10.7%
住宅・建築	0.6%	—	—
不動産	0.6%	0.0%	0.0%
電力・ガス	0.3%	0.0%	0.0%
建設コンサルタント	0.1%	—	—
航空・宇宙	0.04%	—	—
その他	16.6%	38.2%	27.0%



～IT活用経営支援ネットワークで IT利活用の地産地消実現を～

その6

ビジネス部会

☆平成25年3月15日に埼玉IT活用経営支援ネットワーク会議が開催されました。

この会議の目的は、埼情協が実施する地域連携事業がより多くの成果を上げるべく、会議メンバーである各支援機関とのコミュニケーションを深めることにあります。

当日は本年度3回目の会議が開催され、埼情協の地域連携事業に関する本年度の活動報告・来年度の活動計画を以下のように説明し、各支援機関との意見交換を行いました。

平成24年度の地域連携事業活動報告

1. 「ビジネスアリーナ2013」への取り組み

以下のような様々な新しい取り組みの結果、多くの出展者が商談発掘について例年にない手ごたえを感じています。（出展者アンケート結果）

① ITソリューションゾーン



今回初めて出展ゾーンを「ITソリューションゾーン」と命名し、埼情協会員以外の出展社にもゾーン参加を呼び掛け、注目度アップを目指しました。

●ゾーン出展社

協会員 16社21小間 非協会員21社24小間
～合計 37社45小間+4小間（プレゼンコーナー）

② プrezentationコーナー



ゾーン内にミニプレゼンコーナーを設け出展者の情報発信強化を目指しました。

●プレゼン
実施6社11本

③ 記念講演会

今 関心の高いスマホ・タブレットを取り上げ講演会を実施しました。

講演テーマ

中小企業のビジネス革新
～事例で学ぶ iPhone・
iPad の効果的活用法～



講師 ソフトバンクモバイル株式会社

首席エヴァンジェリスト 中山 五輪男 氏

●参加者 150名

④ 企業アンケートの実施

例年通り出展企業向けのアンケート活動を行いました。（結果報告は例年通りサイプレスに掲載予定）

⑤ ITソリューションゾーン出展者アンケートの実施

ゾーン出展社に対し2月中に商談発掘状況、プレゼンコーナー評価等のアンケートを実施しました。
※ゾーン出展社の80%が商談発掘ができたと回答。

2. 相談事業企画について

支援機関の実施する各種相談案件から「専門性・具体性」の視点で埼情協にバトンタッチする事がふさわしいケースを引き継ぎ相談事業として実施します。

本年度は協会内の相談対応体制を準備した結果下記のとおりとなりました。

相談員の募集：7名の登録

相談員の品質管理：ルール策定会議開催予定です。
新年度よりの実働を目指すこととなります。

3. 地域ビジネスマッチング企画について

地域での埼情協会員企業と経営者・支援機関とのコミュニケーションを深める企画です。
本年度は県北地域セミナー＆交流会を実施いたします。

スマートホン・タブレットの活用による
ビジネスサービス

日 時 3月21日（木）14：00～
会 場 熊谷市文化創造館（さくらめいと）
講 演 NTT ドコモ 法人事業部
協会員企業 2社

平成25年度の地域連携事業活動計画

基本方針

本事業への取り組み3年目としての成果を出す。
次年度以降の「自立継続的」活動への道筋を立てる。

1. ビジネスアリーナ2014

- 24年度に実施した諸企画をよりブラッシュアップする。（出展者アンケート等を参考に）
- ・広報活動への取り組みを強化しゾーンへの集客増を目指す。
 - ・プレゼンコーナーの充実を図る。
 - ・セミナーテーマを吟味する。

2. 相談事業

地域ビジネス信頼される埼情協のIT利活用相談の確立を目指す。

- ① 支援機関の経営相談等から引き継ぐ相談事業
② ニーズ調査ヒアリング

新たな企画として、協会員企業の持つソリューションへのマーケットでの評価を、ヒアリング調査する企画を計画しています。この企画は24年度関東経済産業局の委託事業として、2会員に協力いただいた結果、好評であったので継続実施することといたしました。

協会員から希望のあったテーマ・ソリューションを1テーマにつき3件のヒアリングを実施します。

ヒアリングは中立的な立場で経験のある相談スタッフが行い、テーマを提示した協会員が同行します。

3. ビジネスマッチングに繋がるシステムの確立を模索する。マッチング企画

次年度は2地区以上の開催を予定しています。

4. テーマ／特定市場訴求型企画

タイムリーな内容のセミナー・研修会などを企画し埼情協と会員企業の知名度アップにつなげます。

テーマ例

「セキュリティ」「BCP」「クラウド活用」
業界業種例

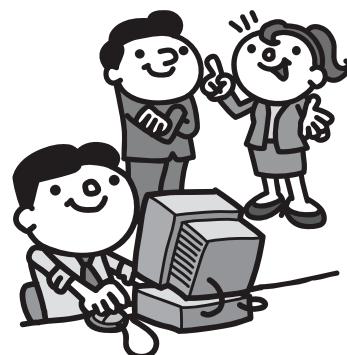
「自治体」「医療福祉分野」「観光」

※実施した企画は対象に対して次年度以降も
「継続的な情報発信」に努めます。

5. 会議体

埼玉IT活用経営支援ネットワーク会議を年間3回開催します。

当事業推進に関する協会内の意見集約の為にWG会議を年間6回程度開催します。



地域連携事業においては「どんなIT技術なのか」より「どんな使い道があるのか」を訴えることが大切ですが、それには地域のニーズを的確に把握する活動が不可欠です。

引き続き皆様と知恵を出し合いながら事業を進めていきましょう。

ITソリューションゾーン出展者アンケート結果集計

(出展37社 回収16社)

1. 今回の成果について ビジネスに繋がる案件発掘がで きましたか。

- 3件以上発掘できた： 5
- 1件発掘できた： 8
- まったく発掘できなかった： 3

2. ゾーン全体の注目度について 手ごたえのある集客が ありましたか。

(1) 昨年出展した企業

- 例年より注目されたと感じた： 3
- 例年と変わらないと感じた： 5
- 例年より注目されないと感じた： 1

(2) 初めて出展した企業

- 他のゾーンより注目されたと感じた： 0
- 他のゾーンと同じと感じた： 3
- 他のゾーンより注目されていないと感じた： 2

3. プレゼンゾーンについて

(1) プrezenを実施した企業

- 実施してよかったです： 3
- あまり効果がなかった： 1

(2) プrezenを実施しなかった方

- 次回は実施してみたい： 5
- 次回も実施しない： 6

コメント

- BIGPADという目立つ商品を展示したので、客寄せが上手くいったと感じた。
- 集客が足りなかつたため、人がまばらであった。次回検討課題にしたい。
- 「ITソリューションゾーン」としたことでの来場者の目的が明確になったと思う。
- 出展企業が少なかつたためか、他のゾーンに比べて人の流れが少なかつたように感じた。
- 自社の提案が形になればプレゼンも考えられるが、まだその時期ではない。

- 初めての出展で事前に気づかなかつたことが多々あった。出展に興味を持っている企業は沢山いると思うのでブースを運営するに当たつてのアドバイス（事例）を示せれば出展を躊躇している企業の背中を押せると思う。
- ITソリューションゾーンの人の通りが昨年より少ない感じがした。
- 場所は人の注目が集まる場所で良かったと思います。弊社としては集客に課題あり。
- 出口の真下に位置していたため通行量が多かった。
- 事前にイベント自体のHPに告知を掲載することは出来ないでしょうか。（プレゼンに関して）
- IT業界自体がまだまだ判り難いため、各社で足を止めてもらうための仕掛けが必要と感じます。
- 当社はITゾーンの中でも特異な分野ですので、プレゼンは実施しません。
- パンフレットの製作自体は良かったと思いますが、取引先に配布する時間が足りませんでした。
- やはりITゾーンへの来場者が全体の中でも少ない。この点を考えねば。
- JAXAやHONDA、ウーマノミクスなどが注目を集めていたように感じた。ゾーン毎にツアーを企画するなど、総合的に紹介する企画があつても良い。
- 一方的なプレゼンテーションでなくとも、テーマに基づいたディスカッションなど当社のメリットになる機会があれば参加してみたい。
- 来場者は昨年より多いと感じました。
- 今回はウーマノミクス関連の出展があり、来場者にも変化があつたので良かったです。
- 有料という事で今回は見送りましたが、来年はプレゼンの申込をしようと思います。
- ITソリューションゾーンの幟やプレゼンブースの設置は目立つて良いと思います。



株式会社INET (urawa)

〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-10-1 URL: <http://www.inetweb.co.jp/>
ラムザタワー4階

INET
urawa
株式会社INET

- ソフトウェアの設計、製造、システムの管理、運営、業務
- ソフトウェア等の入出力データの作成業務
- ソフトウェア等に関するコンサルテーション

@ホームな職場です
そして社員一人一人がさわやかです

さあレッツ!!! アクセス!!!

新卒者採用 求人一覧



(受付順掲載)

社名	株式会社ソルパック
住所	東京都港区六本木4-1-4 黒崎ビル8階
電話	03-3585-4616
FAX	03-3585-9190
HPアドレス	http://www.solpac.co.jp
Eメールアドレス	recruit@solpac.co.jp
採用職種	SE、コンサルティング営業、BPOスタッフ[リーダー候補]
応募条件	大卒、大学院卒
初任給①	大学院卒：230,000円
初任給②	大学卒：210,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給
企業PR	ITを通じて社会に貢献し、お客様から日本一感謝される会社を目指しています。中堅中小企業の業務やシステムを分析し同業他社の事例を踏まえた「より最適な業務スタイル」を提案し、ITの悩みを解決することで中堅中小企業のお客様から「ありがとうございます」と言われる会社と一緒に作り、共に成長しませんか？
応募方法	リクナビ2014よりエントリーしてください。

社名	ノグチコンピュータサービス株式会社
住所	埼玉県さいたま市中央区下落合1085-15
電話	048-824-1099 (代表)
FAX	048-824-1090 (代表)
HPアドレス	http://www.ncsnet.jp/employ.htm
Eメールアドレス	nakamura@ncsnet.jp
採用職種	SE・プログラマー
応募条件	高校、短大、専門、大学（全学部、全学科）
初任給①	高卒：185,000円
初任給②	短大、専門：200,000円
初任給③	大学：210,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給、家族手当他
企業PR	埼玉地域一番（地域優良会社）を目指す。IT利活用を通して地域のIT化へ貢献する。
応募方法	総務部の松本宛電話にて申し込み

社名	関東ソフトウェア株式会社
住所	埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1864-10
電話	048-661-8771
FAX	048-661-8772
HPアドレス	http://www.kantosoftware.co.jp
Eメールアドレス	info@kantosoftware.co.jp/
採用職種	SE、プログラマー
応募条件	専門学校以上
初任給①	専門学校卒：175,000円
初任給②	大学卒：185,000円
その他待遇面	社会保険加入・通勤手当支給
企業PR	個別システムの開発・メンテナンスからトータルシステムの構築まで、またサーバ・ネットワークの構築から運用管理まで、幅広い仕事を手がけています。あなたに向いた仕事が待っています。(採用面接は、夏～秋口を予定しております。)
応募方法	

社名	株式会社フジミック埼玉
住所	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-252 ユニオンビル2F
電話	048-647-9200
FAX	048-647-9206
HPアドレス	http://www.saitama.fujimic.com/
Eメールアドレス	soumu@saitama.fujimic.com
採用職種	SE・PG
応募条件	大卒、短大・情報処理専門（2年卒・3年卒）
初任給①	大卒：190,000円
初任給②	短大・情報処理専門卒（3年卒）：174,000円
初任給③	短大・情報処理専門卒（2年卒）：173,000円
その他待遇面	住宅手当、社会保険完備、通勤費全額支給
企業PR	フジサンケイグループ。フジテレビのシステム開発・運用（営業放送システム、コンテンツ制作、サイト運用、字幕制作、他）、一般企業・金融関連等のシステム開発も行います。企画提案、要件定義、基本設計、開発、テスト、運用と全工程に携わる機会があります。
応募方法	Eメールで会社説明会を予約して下さい。

社名	蓼科情報株式会社
住所	東京都北区赤羽西1-7-1 パルロード3
電話	03-5963-7281
FAX	03-5963-7287
HPアドレス	http://www.tatesina.co.jp
Eメールアドレス	welcome@tatesina.co.jp
採用職種	SE、プログラマー
応募条件	20歳以上（学歴、学部不問）
初任給①	大卒：206,000円
初任給②	専卒（3年制）：190,000円
初任給③	専卒（2年制）：185,000円
その他待遇面	社会保険加入、資格手当、持株会、通勤費全額支給
企業PR	最先端を行く技術者集団でありながら、アットホームな雰囲気は他社に例を見ない最強の企業を形成している。 従業員第一の全員経営を目指しており、企業の分社化、グループ化を推進している。
応募方法	総務部の吉田宛電話又はメールにて申し込み エンジャパン就職サイトよりエントリー

社名	日研システム株式会社
住所	東京都新宿区四谷四丁目32番1号
電話	03-3341-3971
FAX	03-3341-3973
HPアドレス	http://www.nikkensystem.co.jp
Eメールアドレス	ns-info@nikkensystem.co.jp
採用職種	SE、プログラマー
応募条件	大学卒、情報系専門学校卒、情報系短期大学卒
初任給①	大学卒 : 200,000円
初任給②	専卒(3年制) : 193,000円
初任給③	専卒(2年制) : 186,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給
企業PR	日研(日々研さん)システムは、「和」の精神を基本としています(社員相互・お客様・社会)。
応募方法	電話予約(総務:水鳥;ミズトリ)

社名	株式会社シークエンス
住所	東京都千代田区飯田橋2-3-1 東京フジビル501号
電話	03-3222-6434
FAX	03-3222-6467
HPアドレス	www.seq-net.com
Eメールアドレス	info@seq-net.com
採用職種	システムエンジニア、プログラマ
応募条件	大卒(全学部、全学科)、情報系専門学校卒
初任給①	大卒(4年制) : 205,000円
初任給②	大卒(2年制)、専卒 : 195,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給、資格手当(基本情報技術者:10,000円を毎月の給与に反映)
企業PR	社員の元気、企業の元気、お客様の元気、日本の元気を願い会社経営に取り組んでおります。明るくアットホームな会社です。
応募方法	総務部の森宛に電話申込み、又はメールにて

社名	AGS株式会社
住所	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
電話	048-825-6003
FAX	048-825-5473
HPアドレス	http://www.ags.jo.jp/
Eメールアドレス	jinji@ags.co.jp
採用職種	システムエンジニア、インフラエンジニア、ソリューション営業
応募条件	大学卒以上
初任給①	大卒 : 204,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給、時間外手当等
企業PR	【東証二部上場】金融・公共・一般法人と幅広い業種にITソリューションサービスを展開。今後は、データセンターを活用したクラウドビジネスも強化していく。
応募方法	■自由応募(リクナビよりエントリー)

社名	株式会社三和システムフォーム
住所	埼玉県吉川市上内川228-1
電話	048-992-0809
FAX	048-992-1015
HPアドレス	http://www.sanwa-s-f.co.jp/
Eメールアドレス	naka1@sanwa-s-f.co.jp
採用職種	SE プログラマー 営業 DTP デザイナー
応募条件	大卒 情報系専門学校(営業職は普通運転免許要)
初任給①	大卒 : 205,000円
初任給②	専卒(3年制) : 186,000円
初任給③	専卒(2年制) : 179,000円
その他待遇面	社会保険完備 通勤費支給(40,000円まで)
企業PR	役所等を得意先としており、安定性があります。
応募方法	電話で面接日を決定又は、履歴書を送付後、弊社から面接日を連絡

社名	株式会社ティー・アイ・シー
住所	埼玉県越谷市南越谷1-16-13 日本生命越谷ビル
電話	048-989-2111
FAX	
HPアドレス	http://www.ticstage.co.jp
Eメールアドレス	saiyou@ticstage.co.jp(学生専用)
採用職種	SE、プログラマー
応募条件	大卒、大学院卒(学科不問)
初任給①	大卒・大学院卒 : 203,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給、資格手当
企業PR	安定した稼働を求められる自治体向けシステムの長年に亘る開発経験を活かし、医療、民需分野にも事業領域を拡げています。
応募方法	「日経就職ナビ」にて申込み

社名	株式会社 日東テクノブレーン
住所	〒359-1144 埼玉県所沢市西所沢1-14-14
電話	04-2922-5359
FAX	04-2926-0769
HPアドレス	http://www.nitto-tech.co.jp/
Eメールアドレス	jinji@nitto-tech.co.jp
採用職種	SE・プログラマー
応募条件	学部・学科不問
初任給①	199,500円 ※専門卒(2年制)
初任給②	208,200円 ※大学卒(4年制)
その他待遇面	交通費支給、社会保険完備、資格手当あり
企業PR	当社は1974年、埼玉県所沢に本拠地を構え、データ処理を行う企業としてスタート。以来、人材派遣、システムインテグレーションなど、お客様の期待に応える形で発展してきました。お客様の様々な要望に応じるために、技術者派遣、システム開発、データ処理など、最適なサービスをご提供しています。
応募方法	メールまたはお電話でエントリーください。

社名	システム・アナライズ株式会社
住所	東京都千代田区飯田橋1-12-7
電話	03-3261-4332
FAX	03-3221-1889
HPアドレス	https://www.sacn.co.jp
Eメールアドレス	sacrec@sacn.co.jp
採用職種	プログラマ・システムエンジニア
応募条件	文理問わず
初任給①	(大学院卒) 217,000円
初任給②	(大学卒) 211,000円
初任給③	(短大・専門卒) 202,000円
その他待遇面	各種手当・フレックスタイム制・資格取得支援制度
企業PR	web系システム、業務アプリケーションシステムのコンサル～運用・保守、インフラ系のコンサル～運用・保守まで幅広く事業を展開する独立系ソフトハウスです。文理問わずに採用をします。充実した教育体制により個々にあわせたスキルアップができるよう会社全体がバックアップいたします。
応募方法	リクナビ2014よりエントリーをお願いいたします。

社名	パシフィックシステム株式会社
住所	埼玉県さいたま市桜区田島8-4-19
電話	048-845-2200
FAX	048-845-2260
HPアドレス	http://www.pacific-systems.co.jp/
Eメールアドレス	psc-saiyou@pacific-systems.co.jp
採用職種	システムエンジニア、電気設計・機械設計、営業
応募条件	2014年3月卒業見込の方、学部学科は問いません。
初任給①	大学学部卒：209,900円
初任給②	専門卒4年：203,500円
初任給③	専門卒2年：197,800円
その他待遇面	年間休日120日、年次有給休暇、社会保険完備
企業PR	ソフトウェア開発からハードウェア設計・製造まで幅広い業務領域がある、ジャスダック上場企業です。
応募方法	当社ホームページからエントリー受付けています。

社名	株式会社アサヒコミュニケーションズ
住所	埼玉県鴻巣市本町4-3-23
電話	048-541-5152
FAX	048-542-6954
HPアドレス	http://www.asahi-com.net/
Eメールアドレス	info-cmyk@asahi-com.net
採用職種	総合職(営業、企画営業、生産管理、管理部門など)
応募条件	2014年3月 大学・大学院・専門・短大・高専卒業見込みの方及び卒業後1年以内の既卒者の方 ※学部・学科は不問です。
初任給①	大学・大学院卒／19万8300円
初任給②	専・短・高専卒／17万3800円
その他待遇面	■昇給年1回(3月)、賞与年2回(6月・12月) ※入社2年目から支給) ■交通費(全額支給) ■家族手当 ■役職手当、職務手当
企業PR	創業100周年を機に「ただ刷って納めるだけの単なる印刷会社」からの脱却をビジョンに掲げ、あらゆるメディアを駆使して、お客さまの課題解決のお手伝いをさせていただいております。
応募方法	en japan 2014からエントリーを受け付けております

社名	株式会社 アイネット
住所	埼玉県さいたま市南区沼影1-10-1
電話	048-839-5777
FAX	048-839-5788
HPアドレス	http://www.inetweb.co.jp
Eメールアドレス	mail@inetweb.co.jp
採用職種	SE、プログラマー
応募条件	大卒(情報系学科他)、情報系専門学校
初任給①	大卒 : 200,000円
初任給②	専卒(3年制) : 190,000円
初任給③	専卒(2年制)・短大 : 180,000円
その他待遇面	社会保険加入、通勤費全額支給
企業PR	多種多様なお客様のニーズに応え成長しています。 独立系のソフト会社です。 柔軟な発想を持ち、最先端の技術を追求する厳しさとアットホームな雰囲気を兼ね備えた企業です。 高品質な技術・サービスを提供し社会に貢献しています。 入社後技術研修が有ります。
応募方法	管理部の斎藤宛メールにて申込。書類選考

社名	エレクス株式会社
住所	埼玉県さいたま市浦和区高砂3-6-19 高砂パーカースビル
電話	050-5509-4555
FAX	048-815-8167
HPアドレス	http://www.elecs-web.co.jp/
Eメールアドレス	elecs-soumu@elecs-web.co.jp
採用職種	PG/SE/WEBデザイナー/営業/企画
応募条件	
初任給①	専門・短大卒 : 186,000円～195,000円
初任給②	大学卒 : 195,000円～210,000円
初任給③	大学院卒 : 210,000円～220,500円
その他待遇面	社会保険加入
企業PR	BtoBを主体にIT化のコンサルティング、システム開発サービスの運用をワンストップで行います。ショッピングサイトなどのWeb構築やブランディングなど、デジタル戦略・技術に長けています。
応募方法	まずは、会社説明会にご参加下さい。



合同企業説明会開催

3月6日(水)大宮ソニックシティにて埼玉新聞社との共催で「埼玉就職セミナー」合同企業説明会が開催されました。

埼情協として、前年同様IT相談コーナーを設け、内田事務局長、今井人材確保推進事業委員長の2名がこれに当たりました。例年になく多数の学生が相談に来ましたが、「文系だが勤まるだろうか」という相談が大半でした。まだまだ情報業界への認知度が低い事を思い知らされました。

参加企業は27社で当協会からは6社が参加しました、学生数も500名を超えて、どのブースも説明を受ける学生が集まっていました。毎回のことではありますがあんしん相談室等の公官庁のブースは特に人気が集まっていました。



就職活動が始まって間もない事もあるためか、業界を絞りきれず各種業界企業ブースに寄り仕事内容を確認している学生や、グループで行動している学生が多く見受けられました。

【来場者学生数】

	男子	女子	計
4大・院(文系)	257	177	434
4大・院(理系)	73	13	86
短大(文系)	2	13	15
短大(理系)	0	0	0
専門(ビジネス)	0	0	0
専門(理系)	0	0	0
専門(情報)	5	0	0
専門(その他)	1	0	0
計	338	203	541



<IT業界相談ブース>

ANIA 東京サテライト交流会

去る2月7日(木)18:00より、全国地域情報産業団体連合会(ANIA)主催の新春交歓会・東京サテライト交流会が千代田区霞が関の東海大学校友会館「三保の間」にて開催されました。

当日は全国の地域情報産業団体及び関係各省庁、団体から約80名が出席しました。埼情協からは岩崎専務理事、今井理事をはじめとして5名が参加しました。

会場では壁際に机を配置し、カタログ、ポスター等を用いて各社の紹介を行い、情報交流を図りました。また、順番に各社のプレゼンテーションも行い自社製品のアピールをしました。当協会か

らは蓼科情報(株)が出展し、勤怠管理システム「Tomas」の紹介及びデモを行いました。

同じ会場で同時に新春交歓会も行われ、和やかな中、ビジネスの話題にも花が咲き、賑やかな内に閉会となりました。



はじめに

最近、街では無料のWi-Fi接続ポイントが急速に増え、都内の地下鉄では走行中のトンネル内でもネットワークがつながるようになってきています。数年前から言われてきている「ユビキタス社会」がいよいよ現実のものとなってきました。

どこでもネットワークがつながる社会になると、新たなビジネスチャンスも出てきます。ネットワークを利用する端末もPCやスマートフォン、タブレット端末はもちろん、ゲーム機、家庭で使われているテレビなど多岐に渡っています。

「いつ」「だれが」「どんな情報が欲しいのか、発信したいのか」を想像し新サービスを創造する。その創造のヒントとなる研究を当部会で行っています。

今後もさらに研鑽を重ね新しいビジネスのネタを探していきます。

当部会メンバーは会社の中では最も多忙な方ばかりです。しかし、どんなに忙しくとも月半日だけは参加して、他社で同じ様な環境で頑張っている人達と熱いディスカッションをしたい、それを出来る場所がSISIAにある…それを実現するのが我々の夢です。あなたも十人十色の一色になりませんか。

SISIAの会員企業の社員で、当部会のテーマに関心がある方、我々と熱いディスカッションをしたい方はSISIA事務局迄ご連絡ください。ご参加をお待ちしています。

開催日時：2012年12月27日(木) 16:00～17:50

場 所：AGS 株式会社

参 加 者：鬼澤喜一、後藤拓、加藤健治、斎藤俊博、一戸英男、小林裕一郎、上原隼人（順不同、敬称略）

1. 内容

- 『国のIT動向とマイナンバー制度』

(発表者：AGS株式会社 小林裕一郎氏)

(1) 総務省アクションプラン2011

- ・「自治体クラウド」による住民の利便性向上
- ・社会保障・税に関わる番号制度の導入に向けた取り組み

(2) 新たな成長戦略ビジョン－原口ビジョンⅡ－

- ・2013年に国民本位の電子行政を実現
- ・2020年までに地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を推進し、住民等の利便性向上を実現

- ・社会保障・税に関わる新たな番号を導入し、経済成長へ寄与

(3) マイナンバー法について

- ・20歳代の7割近くが制度の必要性を感じている
- ・番号制度への期待は手続きの簡素化など利便性向上
- ・個人に「個人番号（マイナンバー）」を、法人に「法人番号」を付与
- ・公的個人認証の基盤を整備、将来は民間利用に拡大
- ・政権交代のドタバタで法施行が1年先送りになった

開催日時：2013年1年22日(火) 16:00～17:30

場 所：AGS 株式会社

参 加 者：徳澄範光、後藤拓、斎藤俊博、小林裕一郎、上原隼人（順不同、敬称略）

1. 内容

- 『携わったプロジェクトについて』

(発表者：ボルボ IT ジャパン 斎藤俊博氏)

(1) プロジェクトの概要

- ・既存メインフレームをIBMホストへ移行
- ・当初の目的はコスト減
- ・移行対象 PG 1.3万本 (バッチ 1.1万本、オ

- ンライン 0.15万本)
⇒基本的にCOBOL to COBOLのコンバート・コンバージョン作業はオフショア・プロジェクトマネージャはスウェーデンの方
(2) プロジェクトの課題・問題
・オフショアでの作業品質が想定よりも低く現地とのやり取り回数が増加した
・日本の極力在庫を持たない在庫管理の考え方が外国人PMには理解出来なかつたため仕様の調整・承認に苦慮した
・初回のユーザテストでは画面がほぼ未起動であ

- った
・コストも当初見積りから約5倍ほどになった
(3) 質疑
・設計フェーズは無かったのか
⇒設計は行ったが詳細な部分まで行えていなかつた
・ユーザは使いやすくなったのか
⇒実は一部移行されないシステムもあり、ユーザにとってはコンソールが増えただけで使い勝手は良くなっていない

開催日時：2013年2年26日(火) 16:00～18:00

場 所：AGS 株式会社

参 加 者：鬼澤喜一、後藤拓、加藤健治、徳澄範光、一戸英男、小林裕一郎、上原隼人(順不同、敬称略)

1. 内容

- 『高生産性ツール検討：GeneXus評価を通して』
(発表者：パシフィックシステム株式会社
加藤健治氏)
(1) パシフィックシステムでは次の観点で統合開発ツールを検討してきた
 - ・長期にわたってベンダがサポートできる
 - ・プログラムソースコードの自動生成
 - ・円滑なシステム構築、保守が可能⇒上記要件に一番適合すると思われ、費用的に見合うツールとして「GeneXus」を選定した
- (2) GeneXus の特徴 (Merit, Demerit)
 - ・Web 環境だけでなく、クラサバ環境でのシステム構築も可
 - ・DB の変更、バージョンアップ、稼働環境の変更に対応しやすい

- ・アジャイルプロセスに対応しやすい
- ・20～40%程度の生産性向上が見込める
- ・コードの標準化ができ、属人性の排除が可能になる
- ・複数プログラム言語に対応
- ・日本語での技術的情報が少ない

(3) 今後の方針

- ・小・中規模のプロジェクトを進めたうえで、大規模プロジェクトへの適合性を見極める予定

(4) その他

- ・ある調査によれば20～40代のエンジニアにおけるGeneXusの生産性は40代が一番高かったとのこと。これは、新しい言語への習熟よりも業務知識を活かすことによる結果と思われる。

機器販売・導入サービス

コンサルティングサービス

～情報から価値を創造する～

ソフトウェア開発

保守・運用サービス



AGSビジネスコンピューター株式会社

(旧 株式会社シーピーシー)

〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 AGSビル
TEL : 048-824-5080 FAX : 048-824-5419 URL : <http://www.ags-bc.co.jp>

＜経営者セミナー＞開催

このセミナーは毎年度末に埼情協とNPO法人埼玉ITコーディネータが共催して開催するもので、本年度で通算5回目になります。毎年、総務省・経済産業省をお招きし新年度の情報通信関連施策を説明していただいています。

今回は会員企業・ITコーディネータ45名の参加を得て、両省の課長からは重点施策である「経済再生」とともに、それぞれ「ICTを活用した成長戦略」(総務省)、「ITと融合した新たな産業創出」(経産省)、と日本再生のための情報・通信の役割を推し進める施策の説明をしていただきました。

又 総務省吉森課長からは「戦略的情報通信研究開発推進事業」、特に「地域ICT振興型研究開発」をテーマにしたプログラムに、「来年度に埼情協として是非応募を」との提案をされました。

経産省北原課長からは埼情協も参加した24年度の広域関東地域クラウド推進事業の取り組みについての報告と、ITを活用した付加価値の向上・IT社会における安全性、信頼性を確保するための基盤整備について、経産省の25年度政策の説明と、引き続き埼情協には地域IT利活用促進施策への協力を、とのお願いがありました。

三人目の講師：(一社)情報サービス産業協会の手許部長からは「情報サービス産業の現状・課題について」をテーマに講演していただきました。

日 時 平成25年2月8日(金)

場 所 さいたま市浦和コミュニティセンター

セミナー

講演1：平成25年度総務省ICT関係重点施策について
～ICTによる日本再生の推進～



講 師：関東総合通信局情報通信部 情報通信連携推進課長 吉森 広光 様

講演2：ITの戦略的活用による産業競争力強化と地域経済の活性化

講 師：関東経済産業局地域経済部 情報政策課長 北原 明 様

講演3：情報サービス産業の最新動向

講 師：(一社)情報サービス産業協会 広報部長 手許 将美 様



株式会社リミックス

【設立の経緯】

当社は1991年3月に有志数名が集めた資本金210万円で設立しました。

後になってみれば奇しくも当時はバブル崩壊になった翌月からの事業開始となり設立後数年はかなり苦労の連続でした。それでも創めたからにはコツコツやるしかなく少しずつ社員を増やしお客様の信頼を得る為に全社員で努力してきました。

1993年に本社を板橋区成増に移転し、1995年には資本金を1000万円に増資して2012年10月には成増駅前ビルに再移転し今日に至っております。

【会社紹介】

当社は国内最大手企業と取引を行っており現在まで数多くのプロジェクトを手掛けてまいりました。

その経験により業務AP開発、ネットワーク／サーバ インフラ構築、運用管理、WEB開発など多様なノウハウを蓄積しております。

以下、主たるサービスをご紹介します。

●運用・維持管理・保守サービス

WEBアプリケーションをはじめクライアント・サーバ、ホストシステムまで幅広いシステムを対象とした運用・維持管理・保守業務を行っております。

- ホストマシン運用・障害監視サービス [運用監視、JOB管理]
- UNIX・Windows サーバ保守・運用・障害監視サービス [ライブラリ管理、運用管理・監視、JOB管理]
- 「VOIP サービス、電話会議システム、大手ストレージサーバ」
- ネットワーク保守・運用・監視サービス [セキュリティ管理、ルータ・回線の保守・運用、障害復旧支援]
- 大手ISP、大手通信データ送信システム、ストレージサービス用ネットワーク、異常トラフィック検出システムなど

●SIサービス（インフラ含む）

サーバー及びネットワークの設計・更改業務を行っております。

- OS周りの設計・設定ミドルウェアソフト、業務用アプリケーションの設計・設定・試験



松岡晃史社長

●ヘルプデスクサービス

一般ユーザー向けのPCサポートをはじめ、社内の基幹システムを対象としたサポートに至るまで、お客様の様々なトラブル解決のお手伝いをいたしております。

また、苦情等の様々な問い合わせを一括受け付けします。

- 企業内システムサポート [電話対応、メール対応、問題切り分け、障害対応、エスカレーション、保守員の手配] など

社 名：株式会社リミックス

代 表 者：代表取締役 松岡 晃史

住 所：〒175-0094

東京都板橋区成増2-15-17-1401

東京メトロ有楽町線・副都心線「地下

鉄成増駅」から徒歩3分

東武東上線「成増駅」から徒歩1分

電 話：03-5383-7061

設 立：平成3年3月29日

資 本 金：1,000万円

従業員数：31名

事業内容：

- ・コンピュータソフトウェア開発
- ・システムオペレーションサービス
- ・ネットワークエンジニアリングサービス
- ・Webインテグレーション

主な営業地域：東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県

第19回SISIAボウリング大会 開催

恒例の SISIA ボウリング大会が2月15日(金)に川口スプリングレーンズにおいて、盛大に開催されました。

ボウリング大会も19年連続の開催で22チーム、88名の参加のもと熱戦が繰り広げられ参加会員企業皆様の親睦と交流が図られました。競技終了後、中澤厚生労働部会長の挨拶に続き成績発表、各賞の授与が行われました。

「団体戦」(会社名／参加者名) 敬称略

優 勝	AGS(株)
	三浦 隆・笠原 由美子
	中須 祐一・平田 尚弘
準優勝	ぶぎんシステムサービス(株)
	堤 秀夫・大澤 正幸
	小林 啓之・辻 勝弘
3 位	蓼科情報(株)
	新井 裕輝・星 信幸
	重田 麻衣・三上 舞
4 位	AGS ビジネスコンピューター(株)
	斎藤 好恵・本橋 功至
	中村 純也・仲田 知美
5 位	AGS(株)
	森口 覚・小熊 光
	中村 純一・白田 裕



<団体優勝の AGS チーム>

「個人戦」(選手名／所属) 敬称略

優 勝	堤 秀夫(ぶぎんシステムサービス(株))
準優勝	笠原 由美子(AGS(株))
3 位	古澤 康之 (ぶぎんシステムサービス(株))
4 位	野原 経義((株)アイネット)
5 位	大澤 正幸 (ぶぎんシステムサービス(株))



私のストレス解消法

ぶぎんシステムサービス株式会社 総務部
小澤 雪乃

ぶぎんシステムサービス株式会社の小澤です。埼情協の方からこの標題について書いてもらえないかと依頼が来た時は、どうしようか?何を書こうかと悩みました。なぜなら、今までの投稿を読ませて頂きましたが、私には特にストレス解消法というものがないからです。

聞きかじったところによれば、ストレスを起こすのはストレッサーという因子に起因するものらしく、そして、そのストレスの感じ方は、各人各様に違いがあり、その影響も千差万別のようです。

私の場合は、あまりストレスを感じない体質のようですが、そうは言っても、ストレスを感じていないだけで体は弱っているってことは、何回かありましたけど…。

私が、今まで自分ですごいストレスを感じたのは、母が急に亡くなった時でした。お恥ずかしい話二十歳をすぎても、母に甘えてばかりで家の手伝いはせず、すべて母に頼りっきりでした。依存していた分、亡くなった時は目の前が真っ暗になりました。まさか自分の母が…という現実逃避ともっとやさしくしてあげてれば、もっと親孝行していれば…との後悔の念とこれからの不安とのストレスで押し潰されそうになりました。でも、どんなに悲しくても、時間が解決してくれるし周りの人たちの支えで立ち直れるんですよね。

そんな辛い経験を乗り越えてから、いつ何が起こるか分からないし、毎日楽しんで生活しようって考えるようになりました。だから今は、これと言ってストレスを感じることはないし、解消法の必要性がないんです。

仕事も、総務・人事・経理担当です。これも、私の好きな仕事内容です。いろいろな分野を学ぶことができるし、日常生活にも活かせる知識を習

得できるので自分自身の向上に役立っています。なにより、いろいろな人たちと接することができるので、この部署は私にピッタリだなあと実

感しています。この部署にいることで、埼情協のイベントのお手伝いをさせて頂くことになり、AGS(株)の方々また求人部会の方々と知り合うことができました。やさしい皆さんから様々な話を聞くことができ楽しく過ごさせて頂いています。

プライベートでは、友人とバスケをしたり、この1年くらいジムにも通っています。ストレス解消のために運動しているわけではないのですが、結局それが日々ストレスを抱えないでいられる結果につながっているのかもしれません。特別ストレス解消と思ってしていることはありませんが、日々の生活の中で今はうまくストレスをコントロールできているようです。

私の周りには、たくさんの方達が私を支えてくれています。その支えがあるから、私は日々楽しく自由にストレスを感じない生活ができているのだと思います。

これからも、周りの人に感謝し、この環境に甘えながら毎日楽しんで生活していくうと思います。



中小企業人材確保推進事業

第4回（最終年度）

中小企業人材確保推進事業助成金に係る事業効果、
労働力需給及び雇用管理状況調査報告書

1 調査概要

1 調査目的

本追跡調査は、当協会構成中小企業事業主の人材確保及び労働力の職場定着に向けた雇用管理改善を図る推進事業の成果を把握し、今後の効果的な推進事業実施を進める事を目的に行う。

尚、本事業は本年度（平成25年度）が当協会に於ける最終年度で有ると共に、國の方針により本事業自体が今後継続されない事となつた。

そのため、設問数も最小限に絞った事を報告しておく。

2 調査方法

- (1) 対象 協会員の内、中小企業74社
- (2) 依頼・回収 郵送（返信封筒付き）及びメールにて依頼。回収は郵送、FAX、メール
- (3) 期間 平成24年2月～3月
- (4) 調査機関 公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
- (5) 集計方法 調査数値は無回答を含む他、複数回答もあるため、合計が100%にならない場合がある。
また、割合算出に当たっては小数点第2位を4捨5入しているため、合計が一致しない場合がある。

3 回収結果

発送数：74社／回収数：28社／回収率：37.8%

2 調査結果

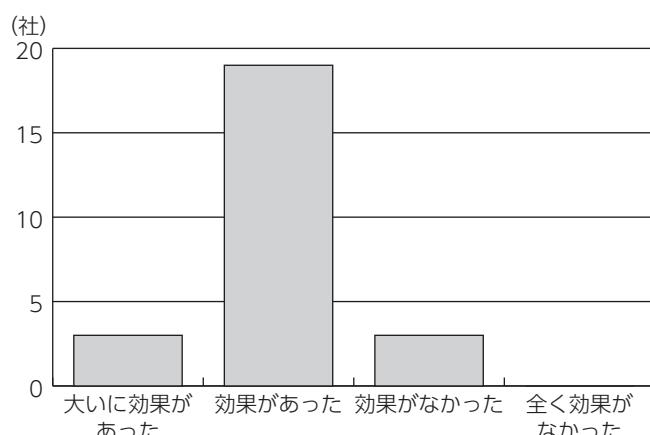
1 中小企業人材確保推進事業の効果度

構成中小企業者数	74社	有効回答数	28社
回答率	37.8%		
大いに効果があった		効果があった	
3社	10.7%	19社	67.9%
効果がなかった	全く効果がなかった		
3社	10.7%	0社	0.0%
		3社	10.7%

効果がなかったと回答した企業は、「本事業を利用していない」という事の他に、「人員増の必要が無い」が挙がっていた。

無回答の理由としては「採用は親会社で一括して行っている」事を挙げていた。従って、大半の企業が何らかの効果があったようだ。効果ありの意見として以下の記述があった。

- ・トライアル雇用など積極的に取組めた
- ・魅力的で働きがいのある職場作りに効果があった
- ・時間外の協定や労働時間制度について見直すきっかけとなった
- ・大学との交流会は有効、参考になる情報が得られた
- ・合同就職説明会からエントリーに至るケースも多かった
- ・当事業で配布された各種ガイドブックにて留意すべき点の確認が出来、助かった

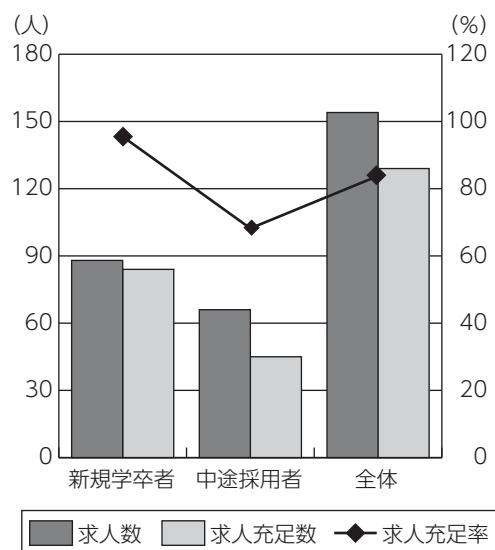


- ・当てにした採用活動が出来た
- ・新規学卒者の採用に結びついた
- ・ミスマッチ防止に役立った
- ・人材確保に一定の実績が出来た
- ・被災地採用時、雇用管理改善に於ける注意点が参考になった
- ・職場のメンタルヘルス対策に役立った

2 労働力需給の状況

(1) 求人充足率

求人充足率（合計）			
	新規学卒者	中途採用者	全体
求人数	88人	66人	154人
求人充足数	84人	45人	129人
求人充足率	95.5%	68.2%	83.8%



	充足率別企業数							
	新規学卒者				中途採用者			
	最終年度	2年度末	初年度末	開始時	最終年度	2年度末	初年度末	開始時
~10%			2	2	1		3	3
11~20%					1			
21~30%							1	
31~40%	1				1	1	1	1
41~50%		3	2	1	1	4		2
51~60%						2		2
61~70%		3		1		1	1	1
71~80%	2		1				1	1
81~90%	1		1			1		
91%~	8	8	9	12	9	9	8	16
求人無し	16	20	20	29	15	16	20	21
合計	28	34	35	46	28	34	35	46

前回の調査では、新規学卒者の求人数は全体で78人であったのが、今回は88人と約13%増加している。充足率も100%近い数値となった。

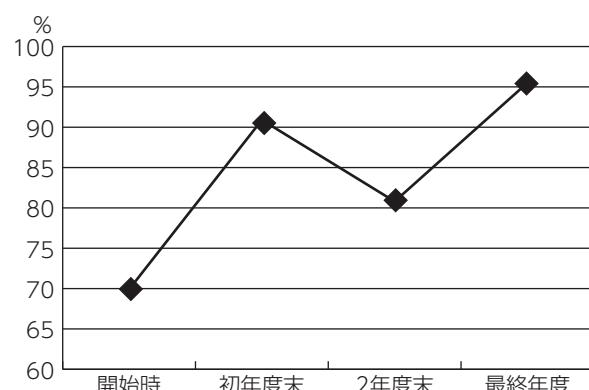
中途採用者の充足率は調査開始時点から70%台であったが、徐々に低下傾向にあり、今回は70%を割ってしまった。人材が徐々に払底しつつあるのだろうか。

今回は求人数、充足率ともに新卒者が中途採用者を上回っている。これは調査開始以来初めての事である。即実戦力の期待される中途採用者から、じっくりと人材育成をする新卒採用への転換の時期なのかも知れない。

新規学卒者の平均求人数は1社3人となっており、前回調査より1人増えている。しかし、求人なしの企業数は17社有り、その割合（約61%）は高い。景気回復の兆しは感じられるものの、新卒者の就職状況は依然として厳しいようだ。

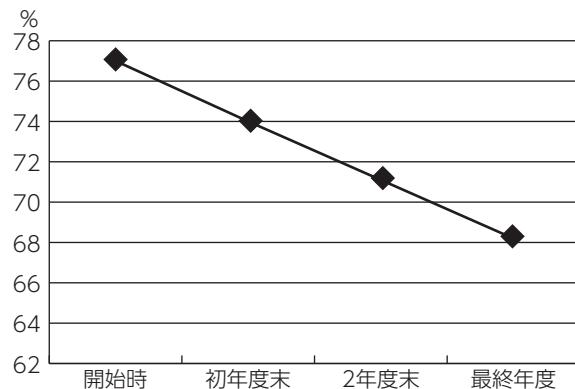
1) 新規学卒者の求人数推移

新規学卒者				
	開始時	初年度末	2年度末	最終年度
求人数	93人	77人	78人	88人
求人充足率	69.9%	90.9%	80.8%	95.5%



2) 中途採用者の求人数推移

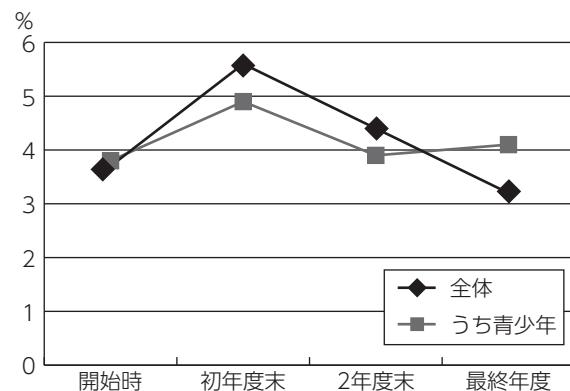
中途採用者				
	開始時	初年度末	2年度末	最終年度
求人数	257人	96人	180人	66人
求人充足率	77.0%	74.0%	71.1%	68.2%



(2) 離職率

	開始時		初年度末		2年度末		最終年度	
	全体	うち青少年	全体	うち青少年	全体	うち青少年	全体	うち青少年
常用労働者数	3,842人	2,314人	3,045人	1,605人	3,339人	18,19人	2,507人	1,322人
離職者数	142人	88人	172人	78人	148人	71人	80人	54人
離職率	3.7%	3.8%	5.6%	4.9%	4.4%	3.9%	3.2%	4.1%

全体の離職率に関しては低下傾向にある。青少年の離職率は前年と比べて微増しているが、調査期間を通して4%のラインを上下している。中高年層は再就職先が見込めないため、安定志向であると思われる。若年層の離職率は雇用状況とは無関係であるようだ。



3 自由記述

- (1) トライアル雇用制度等、是非継続していただきたい。
- (2) 首都圏での採用は当面予定していないが、本事業のようにミスマッチ防止に役立った。
本来は埼玉県内が目的のはずですが、被災地からの募集のような、特殊なケースでも参考にして、役立てる事が出来ました。



- データエントリーサービス
- ファシリティマネジメントサービス
- ソフトウェア受託開発

株式会社 **埼玉電算センター**

本社 〒360-0846 熊谷市拾六間770 TEL 0485-33-3551
 事業所 熊谷・大宮・坂戸・新潟
 Eメール info@sdc-inc.co.jp http://www.sdc-inc.co.jp/

Assuring Growth and Success with IT

[ITで、確かな成長と成功を]

- アウトソーシングサービス
- IDCサービス
- ASPサービス
- ソフトウェア開発
- パッケージソフト・機器販売
- マルチペイメント共同利用センター

• Challenging

Attractive

Genuine

Speedy

Organized

お客様とともに
未来を創造し、
ITで夢のある社会づくりに
貢献します



AGS株式会社

www.ags.co.jp

本 社

〒330-0075
埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷 4-3-25
TEL:048-825-6000 FAX:048-822-7337

東京本社

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 1-21-11 オーク池袋ビル 4 階
TEL:03-3984-8471 FAX:03-6386-0911

浦和ソリューションセンター

〒336-0027
埼玉県さいたま市南区沼影 1-13-1 ナリア・テラス 3 階
TEL:048-839-5611 FAX:048-877-3500

「こんなことができたらいいな」という想いを実現します

埼玉ネットワークサービス

お取引先(集金先)の取引金融機関から、早くそしてお安い料金で口座振替
により各種代金を回収するサービスです

給与計算サービス

複雑な給与計算業務を代行するサービスです

コンサルティング業務

お客様のニーズに合ったソフトウェア開発、ハードウェア導入などシステム
導入におけるトータルサポートを行います

プライバシーマーク取得支援

プライバシーマーク取得のための支援を行います

EBサービス相談

オフィスの合理化、資金管理の効率化を実現します

ソフトウェアの開発

パソコンソフトの開発を行います

パソコン及び周辺機器販売

武蔵野銀行
グループ

**BEST
SATISFACTORY
SUPPORT**

武蔵野銀行グループ企業として、県民の皆様
に役立つことを企業使命に、お客様に満足し
ていただける最良のサポートを提供します

ぶぎんシステムサービス株式会社

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-307
武蔵野銀行事務センター内
Tel (048)644-8510 Fax (048)642-9108

// <http://www.bugin-bss.co.jp>

情報化アンケート 結果報告

* 第10回埼玉県内企業 *

* 第17回埼玉県内地方公共団体 *

日ごろ当協会の活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

地域の情報化推進事業の一環として、これまで県内の企業および自治体を対象に、IT化推進状況について、アンケート調査を続けてまいりましたが、今回でそれぞれ10回目、17回目となります。アンケート調査を1月から2月にかけて実施いたしましたが、多くの企業様および自治体様にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

その調査結果がまとまりましたので、ここにご報告いたします。現在のIT化の実情をご理解いただき、また、今後のIT化施策をご活用いただければ幸いです。

当協会には、それぞれの専門技術を有する会員企業110社が控えており、IT技術者の育成から、情報化技術に対する総合的なサポートにいたるまで、何なりと協会窓口にお尋ねください。

アンケート内容につきましても毎年、IT化の動向や皆様のニーズを取り入れ、更に内容を充実させて行きたいと考えております。

皆様方には、これからも協会活動につきまして、なお一層のご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成25年4月

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会

ビジネス部会長 山崎 喜久男

・産業界の求める人材を育成

学校法人中央情報学園グループ校



■ITプロフェッショナル学科 ■情報システム学科 ■Webビジネス学科 ■日本語本科
352-0001 埼玉県 新座市 東北 2-3-10 TEL 048-474-6651 FAX 048-475-1814

URL <http://www.ccmc.ac.jp/>



■ビジネス起業経営学科 ■日中英通訳学科 ■ITモバイル学科
■ゲーム・アニメ制作学科 ■組み込みソフトウェア学科
171-0033 東京都 豊島区 高田 2-6-7 TEL 03-5960-2611 FAX 03-5960-2622
URL <http://www.wbc.ac.jp/>

埼玉県内企業「第10回情報（IT）化実態調査」

1. はじめに

当協会の県内企業アンケートは今回で10回目となり、ひとつの節目を迎えました。まずは、この紙面をお借りして永年アンケートにご協力いただいた県内企業の皆様にお礼申し上げます。

今回は、本年1月に開催された企業間取引における日本最大級の展示商談会であります「彩の国ビジネスアリーナ2013」出展の県内企業の各社様を対象に実施しました。

アンケート集計とその分析結果をここに報告致します。

2. アンケート調査の目的

本調査の目的は県内企業のIT化進展の状況を把握し当協会の活動をPRするための基盤を確認することに加えて、より具体的な県内企業のIT利活用の実態とニーズを把握し、当協会及び会員企業がどのような提案・支援を行えるかを探ることも調査の目的としております。

3. アンケートの実施

2013年1月30日「彩の国ビジネスアリーナ2013」会場における県内に主要な拠点のある出展企業へのアンケートを依頼し、148社より回答を得ました。

4. アンケート集計データとコメント

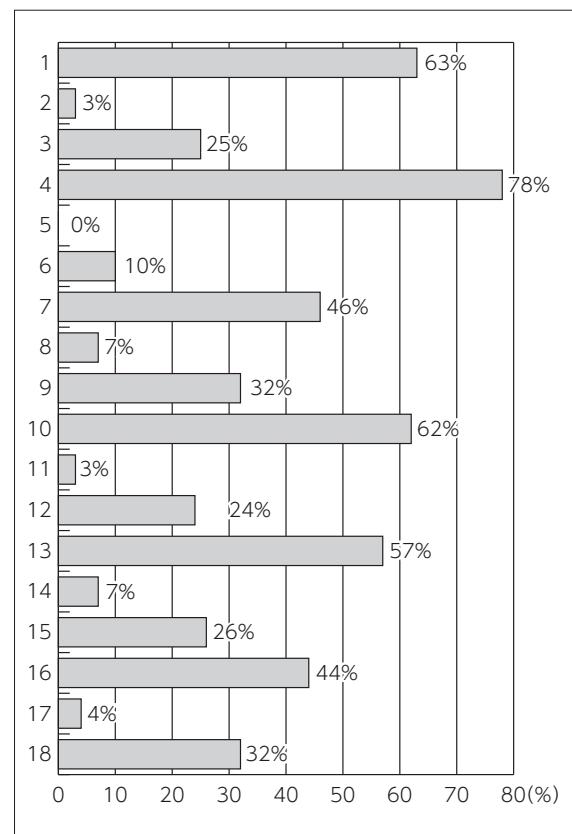
有効回答総数148社の集計データならびに分析コメントは以下の通りです。各設問の回答数合計にバラツキがあるのは、複数選択回答が存在するためです。回答割合の集計は有効回答数を分母にしています。

以下、設問番号の順に設問ならびに回答内容、回答数（企業従業員数による規模別分類集計を含む）回答率をデータ表とグラフで表示し、分析コメントを付記しました。

システム化状況についてのアンケート 集計結果

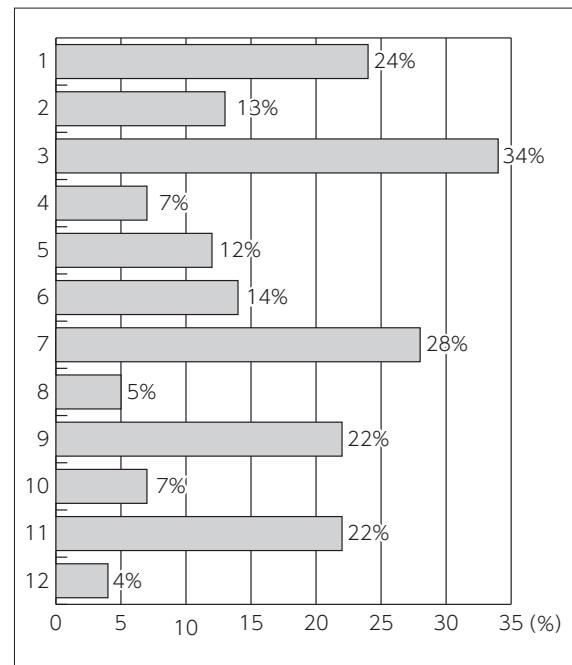
1) システム化されている業務は何ですか？

回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 販売管理	システム化されている	42	35	16	0	93 63%
	今後導入予定	1	2	1	0	4 3%
	システム化されていない	23	13	1	0	37 25%
4 経理業務	システム化されている	54	44	17	0	115 78%
	今後導入予定	0	0	0	0	0 0%
	システム化されていない	11	4	0	0	15 10%
7 生産管理	システム化されている	26	30	12	0	68 46%
	今後導入予定	5	4	1	0	10 7%
	システム化されていない	31	14	2	0	47 32%
10 人事管理	システム化されている	39	37	16	0	92 62%
	今後導入予定	4	0	0	0	4 3%
	システム化されていない	24	11	0	0	35 24%
13 社内事務	システム化されている	40	32	13	0	85 57%
	今後導入予定	3	4	3	0	10 7%
	システム化されていない	21	15	2	0	38 26%
16 CAD	システム化されている	29	27	9	0	65 44%
	今後導入予定	4	1	1	0	6 4%
	システム化されていない	28	16	4	0	48 32%
合 計		385	289	98	0	772



「システム化されている」・「今後導入予定」の場合…

		回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
			A	B	C	不明		
			20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1	販売管理	パッケージシステムを利用	16	16	3	0	35	24%
2		独自開発(オーダーメイド)	5	11	3	0	19	13%
3	経理業務	パッケージシステムを利用	22	24	4	0	50	34%
4		独自開発(オーダーメイド)	2	7	1	0	10	7%
5	生産管理	パッケージシステムを利用	6	9	3	0	18	12%
6		独自開発(オーダーメイド)	5	13	2	0	20	14%
7	人事給与管理	パッケージシステムを利用	16	20	5	0	41	28%
8		独自開発(オーダーメイド)	2	6	0	0	8	5%
9	社内事務	パッケージシステムを利用	14	15	3	0	32	22%
10		独自開発(オーダーメイド)	3	8	0	0	11	7%
11	CAD	パッケージシステムを利用	14	15	3	0	32	22%
12		独自開発(オーダーメイド)	0	6	0	0	6	4%
合 計			105	150	27	0	282	



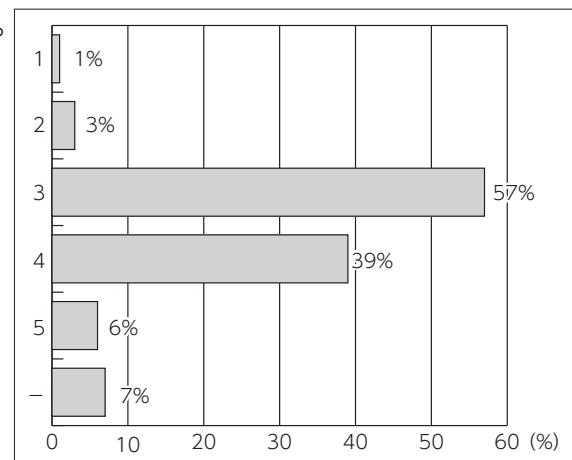
業務別のシステム化の比率はここ数年大きな変化は無い状況にある。しかしながらパッケージソフトによる業務運用という面からみると、徐々に増加の傾向がみられる。

ソフトウェアのライフサイクルの切れ目で、再度オーダーメイドで作成せずにパッケージの適用を進めている結果が見て取れる。

生産管理系もパッケージ適用が難しい部分と一般的に考えられていたが、他の業務同様の結果となっている。この流れの先にはクラウド上でのシステム運用が透けて見えてきている。

2) 上記設問の業務で使用しているコンピュータはどうでしょうか。

		回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
			A	B	C	不明		
			20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1	大型汎用機		0	1	0	0	1	1%
2	オフコン		4	0	0	0	4	3%
3	サーバシステム		29	38	18	0	85	57%
4	パソコン単独		39	16	2	0	57	39%
5	外部委託		4	4	1	0	9	6%
-	未回答		3	4	3	0	10	7%
合 計			79	63	24	0	166	



大型汎用機にて行っている業務システムは、業務全般に渡るものと思われるが、さすがに数は少なくなってきた。ただし、ソフト資産は膨大な量になっていることが予想されるので、なかなかダウンサイジングに踏み込めない状況が想定される。また、オフコンでも少数ではあるが運用されている。

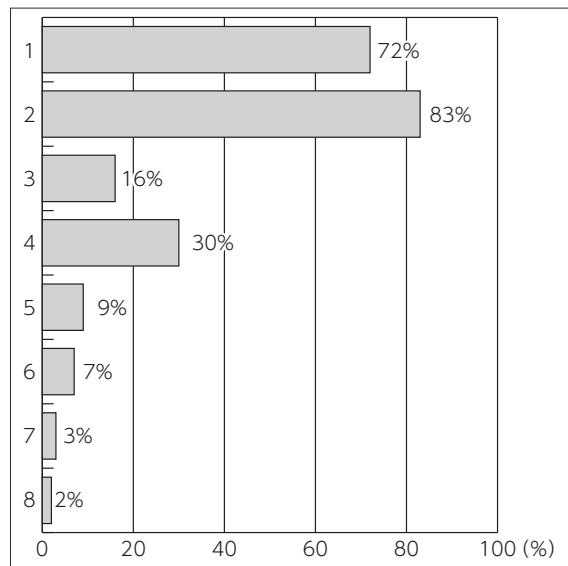
オフコンの国産メーカーは、徐々に撤退して行っており、今後システム運用をどうするかの岐路に立っていることが経営課題になってくるものと思われる。

今後困る状況にあるこれらの企業に対して、当協会も解決に対して積極的に協力していくことが必要であろう。

また、パソコン単独で運用しているシステムは、業務全般ではなく部分的な適用と推測される。

3) インターネットをどのように利用されていますか。

回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 情報検索や銀行決済	46	44	17	0	107	72%
2 ホームページ上での会社案内・広告・求人等	55	49	19	0	123	83%
3 電子入札で利用	7	11	5	0	23	16%
4 受発注業務－取引先が提供しているシステムを利用	10	24	11	0	45	30%
5 受発注業務－貴社が提供するシステムを貴社が提供している	7	5	1	0	13	9%
6 SaaS やクラウドを利用した業務システムなど	7	4	0	0	11	7%
7 その他	3	1	0	0	4	3%
8 使用していない	2	1	0	0	3	2%
合 計	137	139	53	0	329	

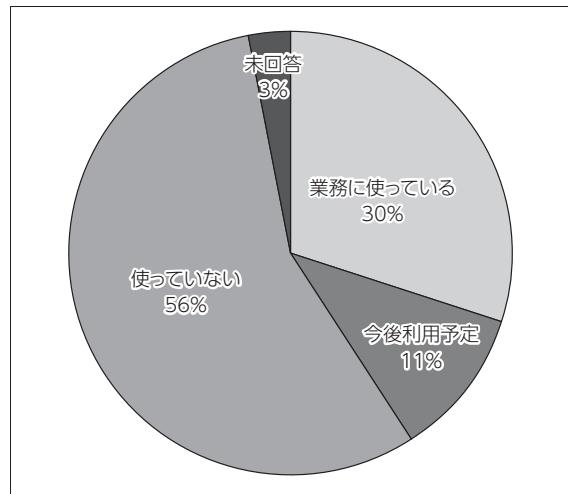


ホームページでの自社情報の発信、他社情報の検索は十分に普及している。ホームページのコンテンツは自社情報の効果的な発信と検索エンジンにおける上位表示技術が必要と考えられる。

SaaS やクラウドの利用について絶対数はまだ少ないものの、前年度と比べると倍増している。諸外国の状況等をみると今後さらなる増加がみられるものと考えられる。

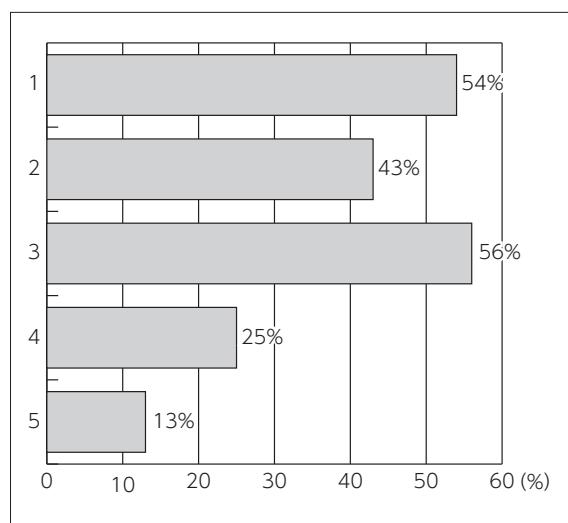
4) スマートフォン、タブレット端末を業務で使っていますか。

回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 業務に使っている	23	16	6	0	45	30%
2 今後利用予定	6	5	5	0	16	11%
3 使っていない	40	35	8	0	83	56%
4 未回答	2	0	2	0	4	3%
合 計	71	56	21	0	148	100%



利用目的（「業務に使っている」・「今後利用予定」の場合）

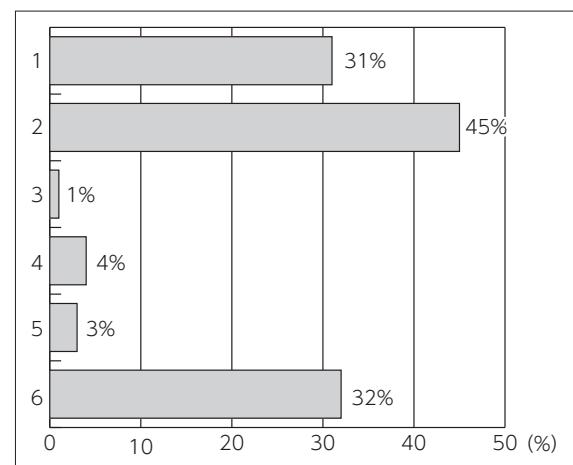
回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 カタログなどの販促ツール	17	12	4	0	33	54%
2 作業管理、作業計画	16	7	3	0	26	43%
3 スケジュール管理、掲示板など(グループウェア)	17	11	6	0	34	56%
4 受発注・在庫管理	9	4	2	0	15	25%
5 その他	2	4	2	0	8	13%
合 計	61	38	17	0	116	



スマートフォン、タブレット端末を“業務に使っている”と“今後利用予定”を合わせると41%になり、昨年度では32%であったので、大幅な増加である。利用目的は販促ツール等の営業系は従来通り多いが、作業管理、作業計画等の業務系が昨年度の24%に比べて43%となり、大幅に増加している。スマートフォン、タブレット端末の利用が全従業員層に広がってきていていると考えられる。

5)コンピュータにおける停電や災害対策はされていますか。

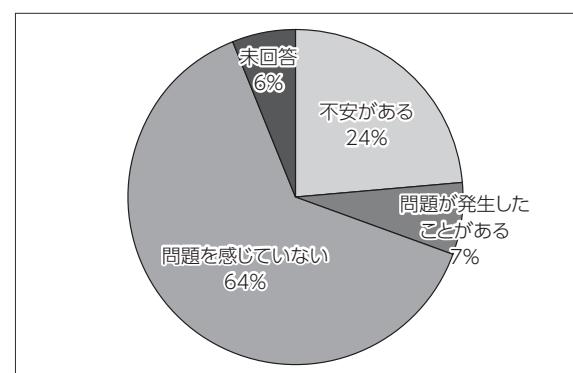
回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 停電対策（自家発電、大型UPS・バッテリー）	20	15	11	0	46	31%
2 バックアップシステムの導入	30	25	11	0	66	45%
3 免震装置など	0	1	1	0	2	1%
4 データセンターに預けている	3	2	1	0	6	4%
5 その他	2	3	0	0	5	3%
6 特に対策はしていない	28	18	1	0	47	32%
合 計	83	64	25	0	172	



“停電対策”や“バックアップシステムの導入”は、システム運用担当者以外は社内の状況が理解できていない可能性があり、上記データ以上に普及していると考えられる。しかし、特に零細企業では“特に対策はしていない”が多い。実際にデータバックアップすら行っていない企業が散見される。零細企業でもITへの依存度が高くなっている昨今では最低でもバックアップ等の対策を進める必要がある。

6)情報セキュリティに関してどのようにお考えですか。

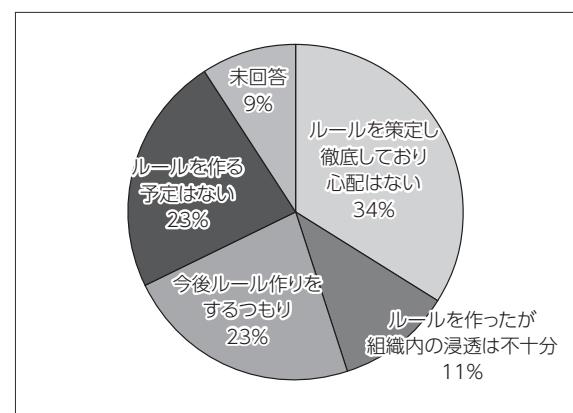
回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 不安がある	20	12	3	0	35	24%
2 問題が発生したことがある	4	4	2	0	10	7%
3 問題を感じていない	43	38	13	0	94	64%
- 未回答	4	2	3	0	9	6%
合 計	71	56	21	0	148	100%



遠隔制御やなりすまし等がニュースや新聞をにぎわしているのに、“問題を感じていない”が64%もあるのが大変意外である。特に零細企業の現場ではウィルス対策ソフトのライセンス更新を行わずに古いパターンファイルやバージョンで運用されているケースが散見されるのがうなづける。ITベンダー側もユーザの意識を変えていくことに注力しなくてはならない。

7)情報セキュリティの関する社内ルールについて

回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A	B	C	不明		
	20名以下	100名以下	101名以上	不明		
1 ルールを策定し徹底しており心配はない	18	20	12	0	50	34%
2 ルールを作ったが組織内の浸透は不十分	5	9	2	0	16	11%
3 今後ルール作りをするつもり	18	14	2	0	34	23%
4 ルールを作る予定はない	26	8	0	0	34	23%
- 未回答	4	5	5	0	14	9%
合 計	71	56	21	0	148	100%

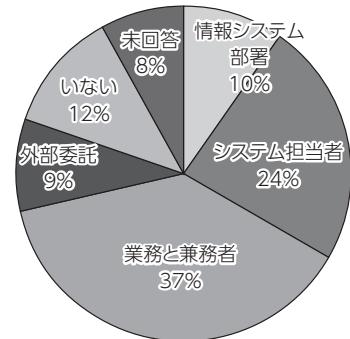


101名以上の企業ではルール策定・徹底が進んでいるが、規模が小さくなるにつれて、“ルールを作る予定はない”が増えている。零細企業では必ずしもルール作りが必要かどうか微妙なところはあるが、運用に負担にならない程度のルール作りはしていくべきだと考える。

8) 社内システムを運営しているのは主に誰ですか?

回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A 20名以下	B 100名以下	C 101名以上	不明		
				不明		
1 情報システム部署	3	5	7	0	15	10%
2 システム担当者	15	15	6	0	36	24%
3 業務と兼務者	31	20	6	0	57	39%
4 外部委託	5	8	1	0	14	9%
5 いない	13	5	0	0	18	12%
- 未回答	6	4	2	0	12	8%
合 計	73	57	22	0	152	103%

複数回答 4件



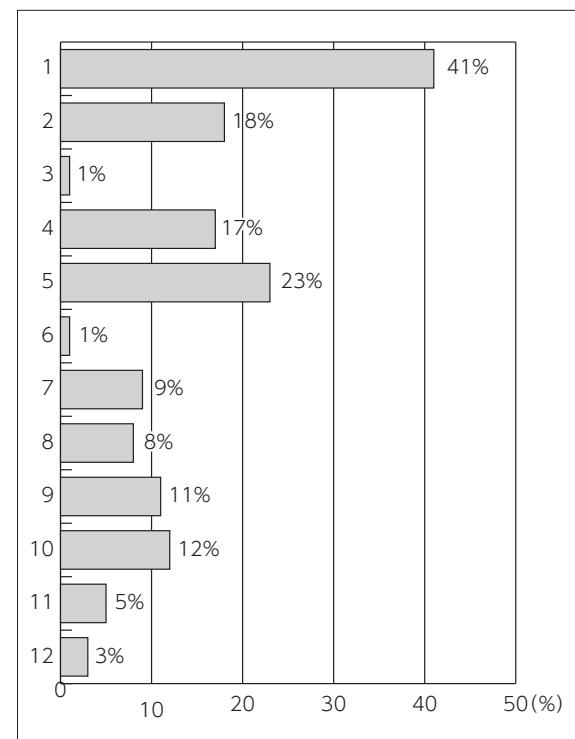
昨年と比較して、情報システム部署が運用している率は誤差の範囲であるが、システム担当者を置く企業は減少の方向にある。

その他の比率はあまり変わっていない。これは、設問1にあるパッケージの適用と関連があるのではないかと推測される。

部署として構えている企業は、オーダメイドのシステムで随時機能の改善を行っているが、担当だけで運用している場合パッケージの適用で、兼務になっていたり、運用から外れていっている可能性が高いと思われる。今後の方向を注視したい。

9) システム (IT) の利活用で解決したい貴社の経営課題はどのような点ですか。

回答内容	企業従業員数別回答数				回答数	割合(%)
	A 20名以下	B 100名以下	C 101名以上	不明		
				不明		
1 新規顧客開拓・販路拡大	33	21	7	0	61	41%
2 新商品開発・商品力強化	12	12	3	0	27	18%
3 SCM (サプライチェーン・マネジメント)	1	1	0	0	2	1%
4 在庫管理の見直し・再構築	11	14	0	0	25	17%
5 コスト削減・価格競争力強化	17	13	4	0	34	23%
6 BPR (ビジネスプロセス・リエンジニアリング)	0	1	0	0	1	1%
7 業績把握(決算)の早期化	5	7	2	0	14	9%
8 人材の確保・IT人材確保・人材育成	6	4	2	0	12	8%
9 社内の意識改革・IT意識改革	9	6	1	0	16	11%
10 リスク管理の強化(情報セキュリティ、BCP/事業継続計画)	12	6	0	0	18	12%
11 企業の社会的責任、コンプライアンス	4	3	1	0	8	5%
12 その他	2	2	0	0	4	3%
合 計	112	90	20	0	222	



ITの利用によって、販路の拡大や商品力の強化をしたい、また、適正在庫の調整によってコストの削減をしたい。IT利活用に漠然とした期待は感じるが、どうやって実現すればよいか、それに対する人材をどう確保すればよいかのジレンマがあるようである。。。と昨年の評価に記載しているが、状況はあまり変わっていないようである。

IT業界の課題としても、ユーザの欲しいシステム…得てして目先の困っていること…の実現を目指すことを主眼とし、経営課題に対して解決方法を提示した上でシステム化し、成果を上げてもらうということを行えていない、できる人材が少ないということがあげられると思う。もっとユーザの懐に深く飛び込み課題を具体的に明確にし、改善策を提示できる総合的なSEの育成が必要である。

システム化状況についてのアンケート 業種別集計結果

1) システム化されている業務は何ですか？

回答内容		企業業種別回答数											回答数	割合(%)	
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
		素材型 製造業	加工組立 型製造業	生活関連 型／その 他製造業	建設業	卸売業・ 小売業	電気・ ガス業	運輸・ 情報通信 (IT)	金融・ 保険	不動産	サービス 業	その 他	不 明		
1	販売管理	システム化されている	6	30	14	2	18	3	2	0	0	8	10	0	93 63%
2		今後導入予定	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	3%
3		システム化されていない	2	13	7	1	3	0	0	0	1	1	9	0	37 25%
4	経理業務	システム化されている	7	40	19	2	18	3	2	0	1	10	13	0	115 78%
5		今後導入予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0%
6		システム化されていない	1	5	2	0	2	0	0	0	0	0	5	0	15 10%
7	生産管理	システム化されている	5	27	10	0	11	0	2	0	1	6	6	0	68 46%
8		今後導入予定	0	5	1	0	1	1	0	0	0	2	0	0	10 7%
9		システム化されていない	4	12	11	2	4	0	0	0	0	1	13	0	47 32%
10	人事管理給与	システム化されている	7	35	13	2	13	1	1	0	1	9	10	0	92 62%
11		今後導入予定	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4	3%
12		システム化されていない	0	9	9	1	6	0	0	0	0	1	9	0	35 24%
13	社内事務	システム化されている	3	30	15	2	13	2	1	0	1	8	10	0	85 57%
14		今後導入予定	1	3	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	10 7%
15		システム化されていない	4	12	7	1	4	0	0	0	0	1	9	0	38 26%
16	CAD	システム化されている	6	30	11	1	5	1	1	0	0	4	6	0	65 44%
17		今後導入予定	0	0	1	0	3	1	0	0	0	1	0	0	6 4%
18		システム化されていない	3	12	7	2	10	0	0	0	1	2	11	0	48 32%
		合計	49	267	131	16	113	14	9	0	6	56	111	0	772

「システム化されている」・「今後導入予定」の場合…

回答内容		企業業種別回答数											回答数	割合(%)	
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
		素材型 製造業	加工組立 型製造業	生活関連 型／その他 製造業	建設業	卸売業・ 小売業	電気・ ガス業	運輸・ 情報通信 (IT)	金融・ 保険	不動産	サービス 業	その 他	不 明		
1	販売管理	パッケージシステムを利用	3	12	9	0	3	0	0	0	0	1	7	0	35 24%
2		独自開発(オーダーメイド)	1	6	1	1	5	1	1	0	0	1	2	0	19 13%
3		パッケージシステムを利用	3	17	11	0	5	1	1	0	0	1	11	0	50 34%
4	経理業務	独自開発(オーダーメイド)	1	4	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	10 7%
5		パッケージシステムを利用	1	6	5	0	1	0	0	0	0	1	4	0	18 12%
6		独自開発(オーダーメイド)	1	11	2	0	3	0	1	0	0	0	2	0	20 14%
7	人事給与管理	パッケージシステムを利用	3	15	8	0	5	0	1	0	0	1	8	0	41 28%
8		独自開発(オーダーメイド)	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	8 5%
9		パッケージシステムを利用	2	14	4	0	5	0	1	0	0	1	5	0	32 22%
10	社内事務	独自開発(オーダーメイド)	0	5	3	0	1	1	0	0	0	0	1	0	11 7%
11		パッケージシステムを利用	3	12	6	0	3	1	0	0	0	1	6	0	32 22%
12		独自開発(オーダーメイド)	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	6 4%
		合計	19	108	52	2	35	4	6	0	0	7	49	0	282

2) 上記設問の業務で使用しているコンピュータはどれでしょうか。

回答内容		企業業種別回答数											回答数	割合(%)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明	
		素材型 製造業	加工組立 型製造業	生活関連 型／その他 製造業	建設業	卸売業・ 小売業	電気・ ガス業	運輸・ 情報通信 (IT)	金融・ 保険	不動産	サービス 業	その 他	不 明	
1	大型汎用機	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 1%
2		オフコン	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0 4%
3		サーバーシステム	5	27	16	0	14	1	2	0	1	7	12	0 85 57%
4	パソコン単独	4	23	9	1	7	0	0	0	0	0	3	10	0 57 39%
5		外部委託	0	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0 9 6%
6		未回答	1	2	0	0	2	0	0	0	0	2	3	0 10 7%
		合計	10	57	28	3	23	3	2	0	1	13	26	0 166

3) インターネットをどのように利用されていますか。

回答内容		企業業種別回答数												回答数	割合(%)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
1 情報検索や銀行決済		7	33	19	3	15	2	1	0	1	7	19	0	107	72%
2 ホームページ上で会社案内・広告・求人等		7	40	18	3	18	3	2	0	1	9	22	0	123	83%
3 電子入札で利用		3	8	3	2	2	0	0	0	0	4	1	0	23	16%
4 受発注業務-取引先が提供しているシステムを利用する		4	19	10	1	8	0	0	0	0	2	1	0	45	30%
5 受発注業務-貴社が提供するシステムを貴社が提供している		1	3	3	0	1	1	1	0	0	2	1	0	13	9%
6 SaaSやクラウドを利用した業務システムなど		0	6	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	11	7%
7 その他		1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	3%
8 使用していない		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2%
合計		23	111	56	9	46	6	5	0	2	25	46	0	329	

4) スマートフォン、タブレット端末を業務で使っていますか。

回答内容		企業業種別回答数												回答数	割合(%)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
1 業務に使っている		0	13	11	1	8	1	1	0	0	5	5	0	45	30%
2 今後利用予定		0	5	1	0	3	1	0	0	1	1	4	0	16	11%
3 使っていない		10	27	14	2	11	1	1	0	0	2	15	0	83	56%
- 未回答		0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	3%
合計		10	47	26	3	22	3	2	0	1	10	24	0	148	100%

利用目的(「業務に使っている」・「今後利用予定」の場合)

回答内容		企業業種別回答数												回答数	割合(%)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
1 カタログなどの販促ツール		0	12	7	0	6	0	1	0	0	4	3	0	33	54%
2 作業管理、作業計画		0	12	4	1	3	1	0	0	0	3	2	0	26	43%
3 スケジュール管理、掲示板など(グループウェア)		0	12	7	1	5	1	1	0	1	3	3	0	34	56%
4 受発注・在庫管理		0	6	2	0	3	1	0	0	0	1	2	0	15	25%
5 その他		0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0	8	13%
合計		0	44	21	2	17	4	2	0	1	11	14	0	116	

5) コンピュータにおける停電や災害対策はされていますか。

回答内容		企業業種別回答数												回答数	割合(%)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
1 停電対策(自家発電、大型UPS・バッテリー)		2	16	10	0	10	0	2	0	0	2	4	0	46	31%
2 バックアップシステムの導入		2	21	11	1	14	2	1	0	0	6	8	0	66	45%
3 免震装置など		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1%
4 データセンターに預けている		0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	6	4%
5 その他		1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3%
6 特に対策はしていない		4	14	7	1	5	1	0	0	1	2	12	0	47	32%
合計		9	55	30	3	30	3	4	0	1	11	26	0	172	

6) 情報セキュリティに関してどのようにお考えですか。

回答内容		企業業種別回答数												回答数	割合(%)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	不明		
1 不安がある		3	11	6	0	7	1	0	0	1	2	4	0	35	24%
2 問題が発生したことがある		1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10	7%
3 問題を感じていない		5	31	14	3	14	1	2	0	0	7	17	0	94	64%
- 未回答		1	2	2	0	1	1	0	0	0	1	1	0	9	6%
合計		10	47	26	3	22	3	2	0	1	10	24	0	148	100%

7) 情報セキュリティの関する社内ルールについて

回答内容	企業業種別回答数												回答数	割合(%)	
	a 素材型 製造業	b 加工組立 型製造業	c 生活関連 型／その 他製造業	d 建設業	e 卸売業・ 小売業	f 電気・ ガス業	g 運輸・ 情報通信 (IT)	h 金融・ 保険	i 不動産	j サービス 業	k その他	不明			
	1 ルールを策定し徹底しており心配はない	2	16	9	1	9	0	1	0	0	6	6	0	50	34%
2 ルールを作ったが組織内の浸透は不十分	0	5	5	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	16	11%
3 今後ルール作りをするつもり	3	13	6	0	4	0	0	0	0	2	6	0	34	23%	
4 ルールを作る予定はない	4	9	4	1	6	0	0	0	0	1	9	0	34	23%	
- 未回答	1	4	2	0	2	1	0	0	0	1	3	0	14	9%	
合 計	10	47	26	3	22	3	2	0	1	10	24	0	148	100%	

8) 社内システムを運営しているのは主に誰ですか？

回答内容	企業業種別回答数												回答数	割合(%)
	a 素材型 製造業	b 加工組立 型製造業	c 生活関連 型／その 他製造業	d 建設業	e 卸売業・ 小売業	f 電気・ ガス業	g 運輸・ 情報通信 (IT)	h 金融・ 保険	i 不動産	j サービス 業	k その他	不明		
	1 情報システム部署	0	2	0	0	4	1	2	0	1	3	2	0	15
2 システム担当者	4	14	8	0	5	1	0	0	0	2	2	0	36	24%
3 業務と兼務者	5	18	11	2	9	0	0	0	0	3	9	0	57	39%
4 外部委託	2	4	3	1	3	0	0	0	0	1	0	0	14	9%
5 いない	1	4	2	0	1	0	0	0	0	1	9	0	18	12%
- 未回答	0	5	2	0	1	1	0	0	0	1	2	0	12	8%
合 計	12	47	26	3	23	3	2	0	1	11	24	0	152	103%

9) システム (IT) の利活用で解決したい貴社の経営課題はどのような点ですか？

回答内容	企業業種別回答数												回答数	割合(%)	
	a 素材型 製造業	b 加工組立 型製造業	c 生活関連 型／その 他製造業	d 建設業	e 卸売業・ 小売業	f 電気・ ガス業	g 運輸・ 情報通信 (IT)	h 金融・ 保険	i 不動産	j サービス 業	k その他	不明			
	1 新規顧客開拓・販路拡大	3	21	12	0	11	0	2	0	1	5	6	0	61	41%
2 新商品開発・商品力強化	2	8	4	1	7	0	1	0	0	0	4	0	0	27	18%
3 SCM(サプライチェーン・マネジメント)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1%
4 在庫管理の見直し・再構築	2	8	9	0	3	1	0	0	1	1	0	0	0	25	17%
5 コスト削減・価格競争力強化	3	8	4	0	8	2	1	0	0	4	4	0	0	34	23%
6 BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1%
7 業績把握(決算)の早期化	0	4	3	0	3	1	0	0	0	2	1	0	0	14	9%
8 人材の確保・IT人材確保・人材育成	0	6	0	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	12	8%
9 社内の意識改革・IT意識改革	0	6	1	1	5	0	0	0	0	1	2	0	0	16	11%
10 リスク管理の強化(情報セキュリティ、BCP／事業継続計画)	1	4	6	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0	18	12%
11 企業の社会的責任、コンプライアンス	0	1	3	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	8	5%
12 その他	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	3%
合 計	11	69	43	5	43	4	4	0	3	20	20	0	0	222	

5. アンケート結果に対する考察

設問1 システム化されている業務について

業務別のシステム化の比率はここ数年大きな変化は無い状況にあります。しかしながらパッケージソフトによる業務運用という面からみると、徐々に増加の傾向がみられます。

ソフトウェアのライフサイクルの切れ目で、再度オーダメイドで作成せずにパッケージの適用を進めている結果が見て取れます。

生産管理系もパッケージ適用が難しい部分と一般的に考えられていましたが、他の業務同様の結果となっています。

この流れの先にはクラウド上でシステム運用が透けて見えてきています。

設問2、3、4 ITの利用状況について

大型汎用機にて行っている業務システムは、業務全般に渡るものと思われるが、さすがに数は少なくなっていました。ただし、ソフト資産は膨大な量になっていることが予想されるので、なかなかダウンサイ징に踏み込めない状況が想定される。また、オフコンでも少数ではあるが運用されています。

ホームページでの自社情報の発信、他社情報の検索は十分に普及しています。ホームページのコンテンツは自社情報の効果的な発信と検索エンジンにおける上位表示技術が必要と考えられます。

スマートフォン、タブレット端末を“業務に使っている”と“今後利用予定”を合わせると昨年に比べて大幅に増加しています。利用目的も業務系が大幅に増加しています。スマ

一トフォン、タブレット端末の利用が全従業員層に広がってきてていると考えられます。

設問5、6、7 IT利活用のリスク（災害対策・セキュリティ）について

“停電対策”や“バックアップシステムの導入”は、零細企業では“特に対策はしていない”が多い。実際にデータバックアップすら行っていない企業が散見される。零細企業でもITへの依存度が高くなっている昨今では最低でもバックアップ等の対策を進める必要があります。

遠隔制御やなりすまし等がニュースや新聞をにぎわしているのに、“問題を感じていない”企業が64%もあり、大変以外な結果となっています。

101名以上の企業ではルール策定・徹底が進んでいますが、規模が小さくなるにつれて、“ルールを作る予定はない”が増えています。企業規模を問わず最低限のルールは必要と考えます。

設問8 システム運営

昨年と比較して、情報システム部署が運用している率は誤差の範囲であるが、システム担当者を置く企業は減少の方向です。

その他の比率はあまり変わっておらず、これは、設問1にあるパッケージの適用と関連があるのではないかと推測されます。

部署として構えている企業は、オーダメイドのシステムで随时機能の改善を行っていますが、担当だけで運用している場合パッケージの適用で、兼務になっていたり、運用から外れていっている可能性が高いと思われます。今後の方向を注視したいと考えます。

設問9 経営課題

ITの利用によって、販路の拡大や商品力の強化をしたい、また、適正在庫の調整によってコストの削減をしたい。IT利活用に漠然とした期待は感じるが、どうやって実現すればよいか、それに対する人材をどう確保すればよいかのジレンマがあるようである。。。と昨年の評価に記載しているが、状況はあまり変わっていないようです。

IT業界の課題としても、ユーザの欲しいシステム…得てして目先の困っていること…の実現を目指すことを主眼とし、経営課題に対して解決方法を提示した上でシステム化し、成果を上げてもらうということを行えていない、できる人材が少ないということがあげられると思います。もっとユーザの懐に深く飛び込み課題を具体的に明確にし、改善策を提示できる総合的なSEの育成が必要と考えます。

6. 総括

今回のアンケートへの回答を集計分析して得られた、回答企業のIT化対応状況は以下の通りです。

県内企業においてもスマートフォン、タブレット端末などの利用は昨年に比べ明らかに増加し、業務での利用も進んでいます。SaaS、クラウドの利用も着実に増加しています。しかし、ICTを利活用するうえでのリスク対策（災害、情報セキュリティ）は、小規模企業では、対策が十分とは言えない状況です。

引き続き実態やニーズを調査していきたいと思いますし、我々協会員がどんな支援ができるかも探っていきたいと思っております。

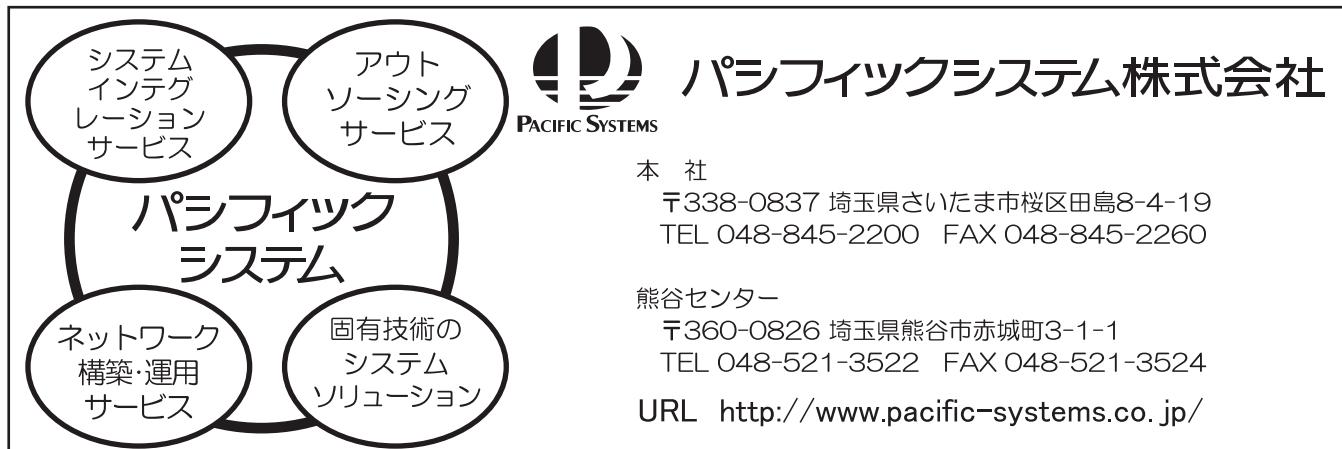
昨年同様、回答企業の業種別にも集計を行いました。企業数が少ないので業種による特徴は正確には読み取れませんが、参考までに集計結果を公表致します。

当協会の役割として今後とも県内企業の皆さまのIT化推進・利活用に有効なお手伝いのできることを願っております。

最後に今回のアンケートにあたってお忙しい中を快く応じていただき、回答を下さった各企業の皆さまに心より御礼申し上げます。

担当：出井良而、仲 隆徳、清水秀昭、小林 誠

協力：富士通エフ・オー・エム（株）、ミツイワ（株）、（株）日東テクノブレーン、（株）フジコミュニケーション、蓼科情報（株）、AGS（株）、（株）フジミック埼玉



地方公共団体へのアンケート結果報告

平成8年設立以来、当協会は、情報化に関する技術の調査研究及び研修を行うとともに、情報化に関する知識の普及啓発を行うことにより、地域社会の高度情報化の促進を図り、埼玉県における経済及び社会の発展に寄与するため活動してまいりました。その活動実績が評価され、平成24年4月より情報サービス産業団体として埼玉県唯一の「公益財団法人」として新発足いたしました。

本アンケート調査は、協会の調査活動の一環として埼玉県内の地方公共団体の情報化動向を把握し、地域情報化戦略立案や、情報化計画策定等への情報提供と地域情報サービス産業の技術力向上を目的として実施したもので、今回で17回目となります。

今回の調査も、アンケート方式による調査を実施し、埼玉県内の63市町村の内、36市町村からご回答をいただき、回収率57.1%の回収率となりました。

ご回答をいただきました地方公共団体のご担当各位におかれましては、本アンケートの主旨に対し深いご理解を賜りご協力いただきましたことに改めて御礼申し上げます。

アンケートの結果を概括しますと、今までの調査で明らかになった埼玉県内の地方公共団体の情報化進展が単なるシステム改善から、電子自治体化に向けた各種情報化施策の策定に前向きに取り組んでいることがわかります。住民サービスの向上や、行政の効率化、情報活用を望む声を情報化計画に反映し、併せて経費削減を実現するためのシステム共同利用やクラウドサービス利用の導入および検討が進みつつあると感じます。一方、全庁的な推進や中長期の計画的な推進が、職員の不足や知識・経験者不足といった人的資源の問題、財政事情等により難しいことなどが、昨年調査時と同様な課題として存在していることが窺えます。

今般、アンケート結果が冊子にまとめましたのでここにご報告させていただきます。協会といましましては本アンケート調査を今後も継続して実施していきたいと考えておりますので、関係各位の引き続きのご協力をお願い申し上げます。

1. アンケートの回収状況 (アンケートの回収状況は以下のとおりでした。)

1) アンケートの回収状況

回収 36通 (全63通) / 回収率 57.1%

2) 市町村別回答数

市／22通 (全40市)
町／13通 (// 22町)
村／1通 (// 1村)
計／36通 (63自治体)

3) 地区別回答数

- 1 県南部地区／5通 (全7自治体)
 - 2 県東部地区／6通 (12 //)
 - 3 県中央地区／3通 (8 //)
 - 4 県西部地区／8通 (14 //)
 - 5 県北部地区／12通 (17 //)
 - 6 県秩父地区／2通 (5 //)
- 計 / 36通 (63 //)

4) ご回答を頂いた自治体 (地区別) : 敬称略

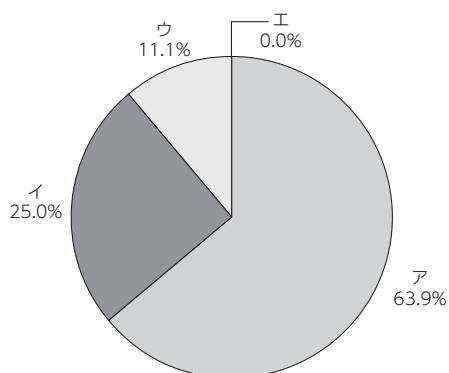
- [県南部地区] 志木市、戸田市、新座市、和光市、蕨市
 - [県東部地区] 春日部市、久喜市、越谷市、吉川市、杉戸町、松伏町
 - [県中央地区] 桶川市、さいたま市、北本市
 - [県西部地区] 川越市、坂戸市、狭山市、日高市、富士見市、川島町、三芳町、毛呂山町
 - [県北部地区] 行田市、熊谷市、羽生市、深谷市、本庄市、神川町、ときがわ町、滑川町、美里町、嵐山町、寄居町、東秩父村
 - [県秩父地区] 小鹿野町、長瀬町
- (NTTの電話帳・地区割を基準にしました)
(各市町村の企画総務並びに情報システム担当者の方にご協力をお願いしました)

2. アンケート集計結果

I. 情報化推進体制について

1 情報化推進ご担当部署の職員数

	回答数	割合(%)
ア. 数名体制	23	63.9%
イ. 5名～10名	9	25.0%
ウ. 10名以上	4	11.1%
工. 回答なし	0	0.0%
計	36	

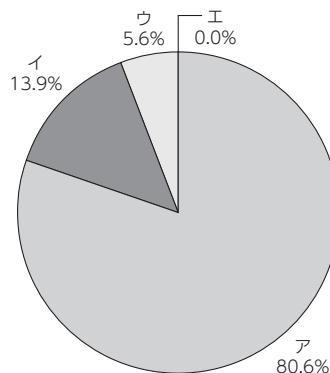


市町村別集計	ア	イ	ウ	工	計
	9	9	4	0	22
町	13	0	0	0	13
	1	0	0	0	1
村	23	9	4	0	36
	ア	イ	ウ	工	計
南部	2	3	0	0	5
	4	1	1	0	6
東部	2	0	1	0	3
	4	2	2	0	8
中央	9	3	0	0	12
	2	0	0	0	2
西部	2	0	0	0	2
	4	2	2	0	8
北部	23	9	4	0	36
	ア	イ	ウ	工	計

約6割の団体で4名以下の体制となっております。
もちろん、団体規模により推進体制の職員数規模が変わることも踏まえていますが、一般企業と比較して要員が少ないので感じます。
今後は、クラウド型システム、データセンター等の活用により、情報化システム部内の職員負担の軽減がさらに進んでいくと考えられます。

2 CIO（最高情報統括責任者）を置かれていますか。

	回答数	割合(%)
ア. 置いている	29	80.6%
イ. 置いていない	5	13.9%
ウ. 今後置くことを考えている	2	5.6%
工. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	工	計	地区別集計	ア	イ	ウ	工	計
	市	町	村	計	南部	東部	中央	西部	北部	秩父	計
市	19	3	0	0	22	南部	3	2	0	0	5
町	9	2	2	0	13	東部	4	1	1	0	6
村	1	0	0	0	1	中央	3	0	0	0	3
計	29	5	2	0	36	西部	8	0	0	0	8
						北部	9	2	1	0	12
						秩父	2	0	0	0	2
						計	29	5	2	0	36

約8割で「CIOを置いている」と回答がありました。
現在の情報化推進やセキュリティ対策の重要性を強く認識されていると感じます。



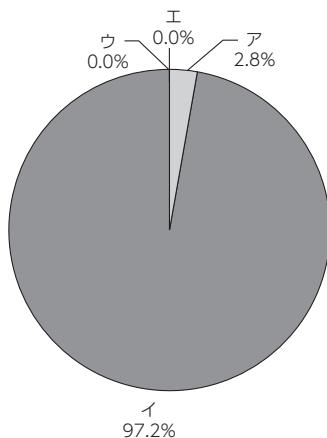
損害保険代理店
生命保険代理店

SISIA グループ保険の総合窓口 048-827-5077(24時間対応)

株式会社デマンドアンドコミュニケーションズ
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤1-2-24-1301

3 CIO の補佐として外部からの人材を登用していますか。

	回答数	割合(%)
ア. 登用している	1	2.8%
イ. 登用していない	35	97.2%
ウ. いずれ登用する予定である	0	0.0%
エ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



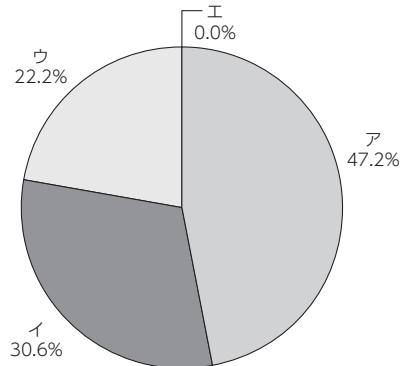
市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	計
	1	21	0	0	22
地区別集計	ア	イ	ウ	エ	計
	0	13	0	0	13
市	ア	イ	ウ	エ	計
	0	1	0	0	1
町	ア	イ	ウ	エ	計
	1	35	0	0	36
村	ア	イ	ウ	エ	計
	0	1	0	0	1
計	ア	イ	ウ	エ	計
	1	35	0	0	36
南部	ア	イ	ウ	エ	計
	0	5	0	0	5
東部	ア	イ	ウ	エ	計
	0	6	0	0	6
中央	ア	イ	ウ	エ	計
	1	2	0	0	3
西部	ア	イ	ウ	エ	計
	0	8	0	0	8
北部	ア	イ	ウ	エ	計
	0	12	0	0	12
秩父	ア	イ	ウ	エ	計
	0	2	0	0	2
計	ア	イ	ウ	エ	計
	1	35	0	0	36

外部人材の登用はわずか1団体。その必要性の可否については賛否が分かれることではあります、CIOはシステム構築・運営に関する高い技術的な能力と、首長に対する適切な報告・助言を行うことが必要となるため、外部人材の有効的な活用については検討の価値があると思われます。

II. ホームページなど住民向け情報化について

1 Web サイトの活用状況

	回答数	割合(%)
ア. 以前構築したものを使用中	17	47.2%
イ. この1~2年前にリニューアルした	11	30.6%
ウ. リニューアルを計画している	8	22.2%
エ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	計	地区別集計	ア	イ	ウ	エ	計
	南部	4	0	1	0	5	東部	3	2	1	0
市	10	7	5	0	22	中央	1	1	1	0	3
	6	4	3	0	13	西部	4	4	0	0	8
町	1	0	0	0	1	北部	5	3	4	0	12
	17	11	8	0	36	秩父	0	1	1	0	2
村	4	0	1	0	5	計	17	11	8	0	36
	1	0	0	0	1						

地域の住民の方々への情報発信や、入手の手段として活用されるWebサイトに関しては、この数年でかなりレベルアップが図られているものと推察されます。



5つの事業を展開しています！！！

- コンサルティング
- システムインテグレーション
- ネットワークサービス
- コンテンツクリエイト
- パッケージ

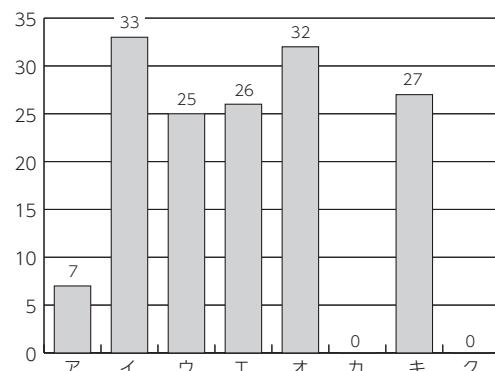
日々の研鑽により技術の向上に努め、より良い技術サービスを提供します。

日研システム株式会社

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-32-1 吉岡ビル6F
TEL 03-3341-3971 FAX 03-3341-3973
メール ns-info@nikkensystem.co.jp
URL <http://www.nikkensystem.co.jp/>

2 内容（複数回答可）

	回答数	割合(%)
ア. 情報提供のみ	7	4.7%
イ. 申請書などのダウンロードサービス	33	22.0%
ウ. 施設予約システムや議事録検索とリンクしている	25	16.7%
エ. 電子申請・届けも対応済	26	17.3%
オ. バナー広告対応	32	21.3%
カ. 電子会議室などフォーラム的サービス提供	0	0.0%
キ. アクセシビリティへの対応	27	18.0%
ク. 回答なし	0	0.0%
計	150	



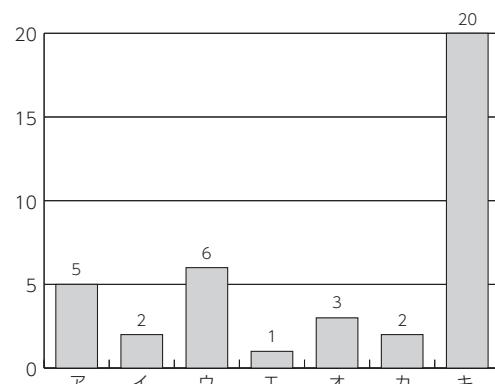
Web サイトの内容に関してですが、結果として広く一般的な内容のものであると思われます。

市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	計
市	5	22	20	19	22	0	20	0	108
町	1	11	5	7	10	0	7	0	41
村	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	7	33	25	26	32	0	27	0	150

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	計
南部	2	5	5	5	5	0	5	0	27
東部	2	5	4	2	6	0	5	0	24
中央	0	3	3	2	3	0	2	0	13
西部	1	8	8	7	8	0	7	0	39
北部	1	11	5	9	10	0	7	0	43
秩父	1	1	0	1	0	0	1	0	4
計	7	33	25	26	32	0	27	0	150

3 内容のレベルアップ予定（複数回答可）

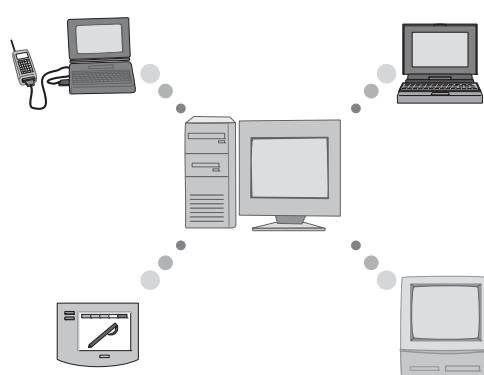
	回答数	割合(%)
ア. 電子申請・届出対応	5	4.0%
イ. バナー広告の適用	2	5.1%
ウ. アクセシビリティ対応	6	15.4%
エ. 電子申請～電子納付まで	1	2.6%
オ. 住民参加型のポータルサイト	3	7.7%
カ. その他	2	5.1%
キ. 回答なし	20	51.3%
計	39	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	計
市	2	0	5	0	3	2	11	23
町	3	2	1	1	0	0	8	15
村	0	0	0	0	0	0	1	1
計	5	2	6	1	3	2	20	39

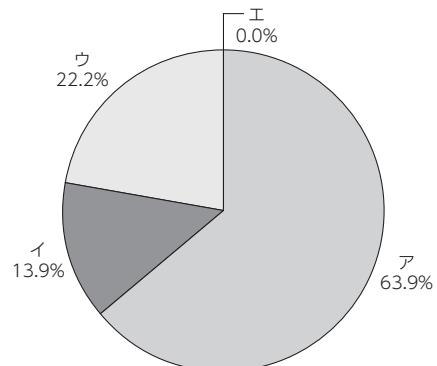
地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	計
南部	1	0	1	0	1	0	2	5
東部	0	0	1	1	0	1	3	6
中央	1	0	0	0	2	0	1	4
西部	0	0	1	0	0	1	6	8
北部	3	1	2	0	0	0	7	13
秩父	0	1	1	0	0	0	1	3
計	5	2	6	1	3	2	20	39

今後のレベルアップについての設問です。
電子申請・届出などは電子自治体構築のうえでは不可欠なものでありますか、利用者側の個人認証の手段や利用方法などまだまだ解決すべき事項があるため、実現までは暫く時間を要するものと思われます。



4 SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の利用状況

	回答数	割合(%)
ア. 利用している	23	63.9%
イ. 利用を検討している	5	13.9%
ウ. 利用する予定はない	8	22.2%
エ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	計
市	16	2	4	0	22
町	6	3	4	0	13
村	1	0	0	0	1
計	23	5	8	0	36

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	計
南部	4	0	1	0	5
東部	5	0	1	0	6
中央	3	0	0	0	3
西部	5	2	1	0	8
北部	6	1	5	0	12
秩父	0	2	0	0	2
計	23	5	8	0	36

世界中で SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）が急速に普及する中、自治体でも SNS の利活用が広がりつつあります。特に、東日本大震災では、自治体や政府において情報発信・共有ツールとして活躍しました。

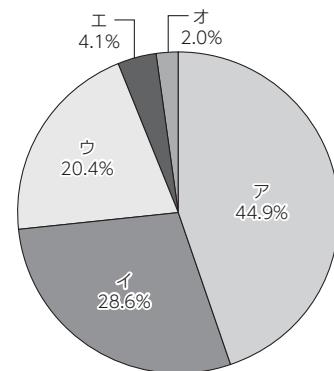
今回の調査でも 7 割強の団体で利用および利用検討されていることが分かりました。

今後は、SNS によって生じる新たなリスクに対して、対策を講じる必要が指摘されています。

5 項番4の回答が「利用している」または「利用を検討している」の場合のみご回答ください。

「利用している」もしくは「利用を検討している」具体的なサービスは何ですか。

	回答数	割合(%)
ア. ツイッター	22	44.9%
イ. フェイスブック	14	28.6%
ウ. ユーチューブ	10	20.4%
エ. その他	2	4.1%
オ. 回答なし	1	2.0%
計	49	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計
市	17	9	7	1	0	34
町	5	5	2	1	1	14
村	0	0	1	0	0	1
計	22	14	10	2	1	49

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計
南部	4	2	2	0	0	8
東部	4	3	1	0	0	8
中央	3	2	0	0	0	5
西部	5	3	1	0	0	9
北部	6	3	6	2	0	17
秩父	0	1	0	0	1	2
計	22	14	10	2	1	49

前問とセットの内容です。
具体的な SNS の種類をご回答いただきました。

複数の SNS を組み合わせ、
住民への情報発信・共有を行っている団体もありました。

NCS

創業 1968 年のソフトウェアハウス

ノグチコンピュータサービス株式会社

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1085-15
TEL 048(824)1099 FAX 048(824)1090

E-mail ncs@ncsnet.jp
URL http://www.ncsnet.jp/

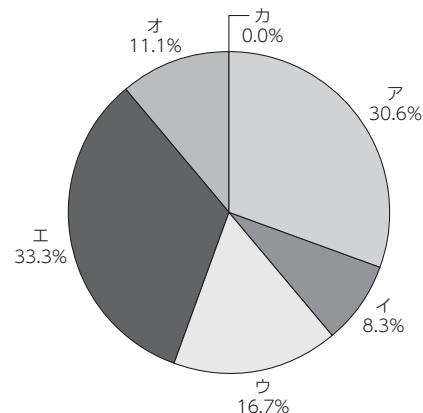
業務アプリケーション開発
ERP業務アプリケーションカスタマイズ
Web関連
ホームページ作成・ネットワーク構築
システムの構築・サポート
データ入力処理

～ご用命は信頼と実績の当社まで～

III. 業務システムについて

1 基幹（住記、税）システムへの取り組み状況

	回答数	割合(%)
ア. 現状システムに満足している	11	30.6%
イ. レガシー改革に向けオープン化し統合パッケージの適用をすすめている（構築中又は検討中）	3	8.3%
ウ. 現状システムのリース期間満了を契機に再構築を考えている	6	16.7%
エ. 現状システムの課題を解消しながら今後とも使用する考えである	12	33.3%
オ. その他	4	11.1%
カ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



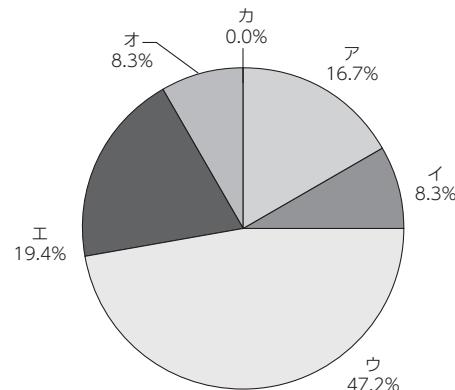
市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
	市	8	3	6	1	4	0
町	3	0	0	10	0	0	13
村	0	0	0	1	0	0	1
計	11	3	6	12	4	0	36

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
	南部	1	2	1	1	0	0
東部	2	0	2	1	1	0	6
中央	2	0	1	0	0	0	3
西部	4	1	1	1	1	0	8
北部	2	0	1	7	2	0	12
秩父	0	0	0	2	0	0	2
計	11	3	6	12	4	0	36

現状の基幹システムの今後の方向性についての設問です。
住記法改正対応がひと段落し、基幹システムの再構築や検討も落ち着いたように見受けられます。
また、その他として、町村会でのクラウド版導入との回答もありました。

2 内部情報システムへの取り組み状況

	回答数	割合(%)
ア. 現状システムに満足している	6	16.7%
イ. 基幹システムとの連携を図って府内の総合行政システムの構築をすすめている	3	8.3%
ウ. 現状システムのリース期間満了を契機に再構築を考えている	17	47.2%
エ. 現状システムの課題を解消しながら今後とも使用する考えである	7	19.4%
オ. その他	3	8.3%
カ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
	市	3	2	12	3	2	0
町	3	0	5	4	1	0	13
村	0	1	0	0	0	0	1
計	6	3	17	7	3	0	36

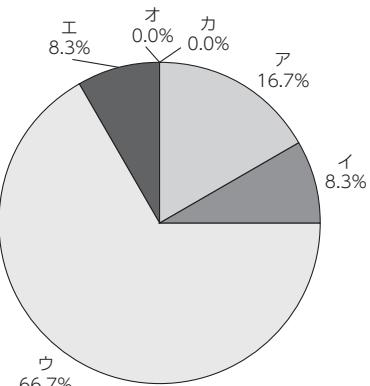
地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
	南部	0	1	4	0	0	0
東部	1	0	4	1	0	0	6
中央	0	0	3	0	0	0	3
西部	3	1	2	1	1	0	8
北部	2	1	4	4	1	0	12
秩父	0	0	0	1	1	0	2
計	6	3	17	7	3	0	36

前項の設問とほぼ同じ内容ですが、対象システムを内部情報システムに特定しています。昨年度より引き続き、再構築との考えが増加しています。

以前は、個々の内部情報システムであり、他業務との連携も基幹システムの性格と異なり限定的なものと位置づけられていましたが、基幹系システムとの共通基盤上に位置するものや共同利用できるものなど選択肢が広がっていることも背景にあると考えられます。

3 電子決裁などペーパレス化への取り組み状況

	回答数	割合(%)
ア. すでに構築済みである（一部利用も含む）	6	16.7%
イ. 導入を検討中	3	8.3%
ウ. 当面は導入しない	24	66.7%
エ. 導入の必要性を感じない	3	8.3%
オ. その他	0	0.0%
カ. 回答なし	0	0.0%
計	36	

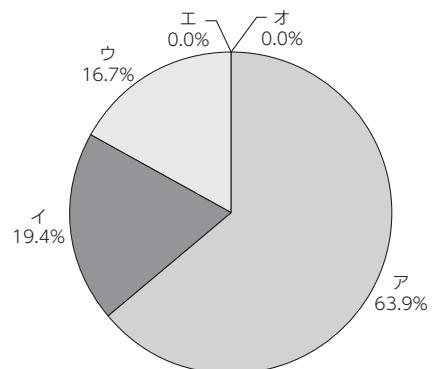


市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
	市	5	2	14	1	0	0
町	1	1	9	2	0	0	13
村	0	0	1	0	0	0	1
計	6	3	24	3	0	0	36

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
	南部	1	0	3	1	0	0
東部	2	0	4	0	0	0	6
中央	1	0	2	0	0	0	3
西部	0	3	4	1	0	0	8
北部	1	0	10	1	0	0	12
秩父	1	0	1	0	0	0	2
計	6	3	24	3	0	0	36

4 ネットワークの整備状況

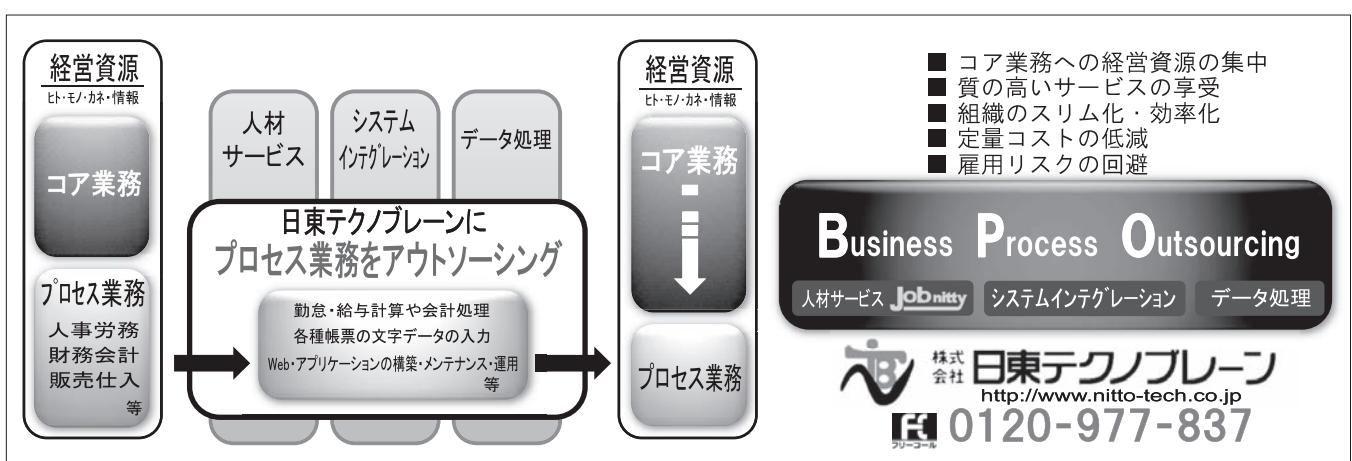
	回答数	割合(%)
ア. 高速回線を敷設し運用中	23	63.9%
イ. 再構築の必要性があり準備している	7	19.4%
ウ. 当初に整備したままである	6	16.7%
エ. その他	0	0.0%
オ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計
	市	14	3	5	0	0
町	8	4	1	0	0	13
村	1	0	0	0	0	1
計	23	7	6	0	0	36

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計
	南部	1	1	3	0	0
東部	2	3	1	0	0	6
中央	3	0	0	0	0	3
西部	7	1	0	0	0	8
北部	8	2	2	0	0	12
秩父	2	0	0	0	0	2
計	23	7	6	0	0	36

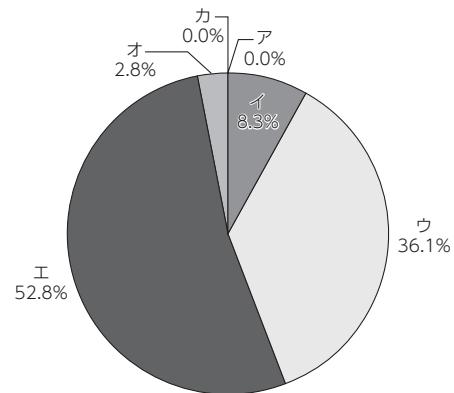
全体としてネットワークの基盤整備はすすんでいると思われます。庁舎内だけではなく、行政地域全般にわたるネットワーク整備としては、ICT社会の基盤となる部分であり、今後とも時代の変化に伴って生じるテーマだと思います。



IV. システム開発、維持管理について

1 システム開発について

	回答数	割合(%)
ア. すべて職員が対応している	0	0.0%
イ. 法改正、制度改正にともなう基幹システム改修などはメーカーや開発ベンダーに委託している	3	8.3%
ウ. 開発、維持管理に関しては委託している	13	36.1%
エ. 開発、維持管理、運用までのすべてを委託している	19	52.8%
オ. その他	1	2.8%
カ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
市	0	1	9	11	1	0	22
町	0	2	3	8	0	0	13
村	0	0	1	0	0	0	1
計	0	3	13	19	1	0	36
地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
南部	0	0	4	1	0	0	5
東部	0	2	1	3	0	0	6
中央	0	0	1	2	0	0	3
西部	0	1	3	3	1	0	8
北部	0	0	4	8	0	0	12
秩父	0	0	0	2	0	0	2
計	0	3	13	19	1	0	36

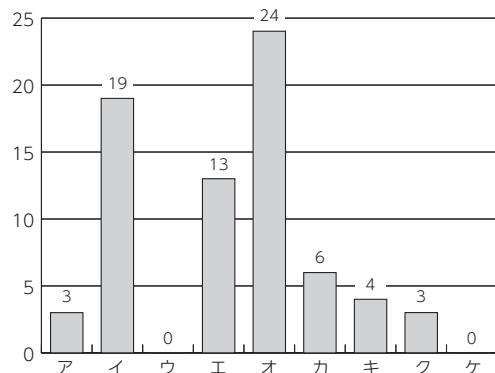
システムの開発、維持管理の業務は内製化の難しさを表す結果でした。

依然として専門性の高い分野であり、導入した企業を中心とした外部の力に依存せざるを得ない環境である現実を物語っています。

オープン化や共通プラットホームといった概念により、幅広く外部を活用できる仕組み作りから、さらに汎用性を持ち、且つ特定の企業に依存することなくシステム構築ができる時代が期待されます。

2 システム運用について（複数回答可）

	回答数	割合(%)
ア. すべて職員が対応している	3	4.2%
イ. 外注 SE 兼オペレータにてシステム維持管理及び運用をしている	19	26.4%
ウ. 時間外運用に関する部分は外注している	0	0.0%
エ. サーバー等の中核システムの運用を IDC などにアウトソーシングしている	13	18.1%
オ. プリント業務、データパンチ業務等は外注している	24	33.3%
カ. 一部オンサイト・アウトソーシングにて庁内運用としている	6	8.3%
キ. IDC 等へのアウトソーシングを考えている	4	5.6%
ク. その他	3	4.2%
ケ. 回答なし	0	0.0%
計	72	



システムの運用に関する設問です。

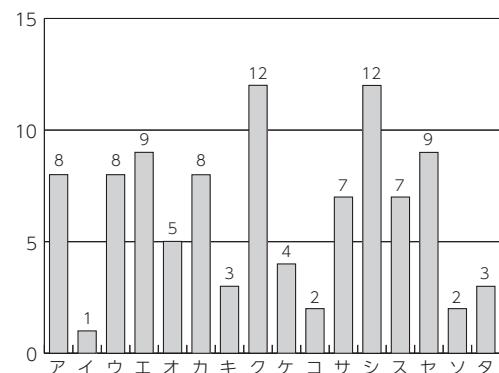
昨年度と割合が大きく変わることはありませんでしたが、自治体全体的に職員数が減少傾向にあるため、アウトソーシングの活用が増加傾向にあります。

市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	計
	南部	東部	中央	西部	北部	秩父	計			
市	3	13	0	7	14	3	2	3	0	45
町	0	6	0	6	10	3	1	0	0	26
村	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
計	3	19	0	13	24	6	4	3	0	72

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	計
	南部	東部	中央	西部	北部	秩父	計			
市	1	3	0	1	2	0	0	0	0	7
町	2	4	0	2	5	1	0	0	0	14
村	0	1	0	0	2	1	1	1	0	6
計	3	19	0	13	24	6	4	3	0	72

3 今後導入、または充実させたいシステムについて（複数回答可）

	回答数	割合(%)
ア. 電子申請システム	8	8.0%
イ. 電子入札システム	1	1.0%
ウ. 電子納付（マルチペイメント対応）	8	8.0%
エ. コンビニ収納	9	9.0%
オ. クレジット収納	5	5.0%
カ. 施設予約システムのインターネット利用	8	8.0%
キ. LGWAN 連携による統合文書管理システム	3	3.0%
ク. GIS システム	12	12.0%
ケ. 統合型内部情報システム（連携基盤によるデータ連携運用）	4	4.0%
コ. 電子申請システムなどに対応する統合型基幹（住記、税）システム	2	2.0%
サ. 総合窓口によるワンストップサービス対応システム	7	7.0%
シ. 基幹システムの共同利用	12	12.0%
ス. システム運用の積極的なアウトソーシング化	7	7.0%
セ. 防災関連システム	9	9.0%
ソ. その他	2	2.0%
タ. 回答なし	3	3.0%
計	100	



ここでは、今後への取り組み状況を判断するために質問致しました。施設管理だけでなく、災害被害想定など施策支援の観点からも GIS システムの導入・充実を希望されていることが分かります。また、基幹システムの共同利用やクラウド利用による運用経費削減も強く望まれていることがうかがえます。

市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	計	
	市	5	1	5	2	1	4	1	9	3	1	4	2	5	4	1	3	51
地区別集計	町	3	0	3	6	3	3	1	2	0	0	2	9	1	4	1	0	38
	村	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	11
	計	8	1	8	9	5	8	3	12	4	2	7	12	7	9	2	3	100
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	計	
地区別集計	南部	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	1	12	
	東部	0	0	1	2	1	1	1	4	0	1	1	0	0	1	1	15	
	中央	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	8	
	西部	1	0	3	1	1	4	1	1	2	0	1	1	0	2	1	1	20
	北部	5	0	2	4	2	1	1	6	1	1	3	7	2	5	0	0	40
	計	8	1	8	9	5	8	3	12	4	2	7	12	7	9	2	3	100

ITの上流工程から下流工程までワンストップサービスをご提供

SOLPAC

@ M-ASP®

ソルパックは“町のコンピューターのお医者さん”

<http://www.solpac.co.jp> 株式会社ソルパック

SOLPAC

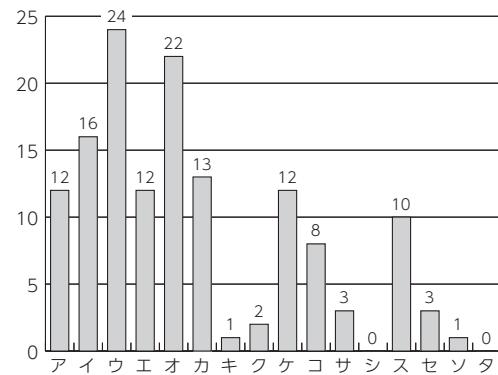
株式会社ソルパック

〒106-0032
東京都港区六本木4-1-4
黒崎ビル 8階
TEL: 03-3585-4616
FAX: 03-3585-9190
URL <http://www.solpac.co.jp>

V. 電子自治体の構築について

1 実現に向けての課題について（複数回答可）

	回答数	割合(%)
ア. 体制整備が難しい	12	8.6%
イ. 情報システムの対応職員が少ない	16	11.5%
ウ. 専門知識、経験者が不足している	24	17.3%
エ. 構築の必要性は感じるが実現はまだまだの段階と思う	12	8.6%
オ. 財政面で予算確保が難しい	22	15.8%
カ. セキュリティ対策が難しい	13	9.4%
キ. 外部要員の常駐化に伴う各種セキュリティ対策（庁舎管理が難しい）	1	0.7%
ク. 安全対策を含む設備整備（ファシリティ対策）が難しい	2	1.4%
ケ. 実現に向けての行政側職員の意識改革が必要	12	8.6%
コ. 利用する住民側の意識高揚が難しい	8	5.8%
サ. 電子自治体化に向けて解決すべき規制が多い	3	2.2%
シ. 構築にあたって信頼できるパートナー企業等が少ない	0	0.0%
ス. 技術と知識を合わせ持った職員・外部人材が少ない	10	7.2%
セ. 電子自治体化に向けて解決すべき規制が多い	3	2.2%
ソ. その他	1	0.7%
タ. 回答なし	0	0.0%
計	139	



電子自治体の実現に向けての課題をお伺い致しました。結果としては、職員の不足や知識・経験者不足といった人的資源の少なさに起因する課題が多い結果となりました。また、例年調査時と同様、財政面では厳しい状況が続いていることもうかがわれます。

一般企業においてもSE不足が大きな課題となっている時代です。専門性の高い人材育成が、更なる行政ニーズの解決を図る上で重要な課題となっています。

市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	フ	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	計
市	8	10	14	8	14	9	1	1	7	2	1	0	3	1	1	0	80
町	3	5	9	4	7	3	0	0	4	5	2	0	6	2	0	0	50
村	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	9
計	12	16	24	12	22	13	1	2	12	8	3	0	10	3	1	0	139
地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	フ	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	計
南部	0	2	4	3	4	1	0	1	2	1	0	0	2	0	0	0	20
東部	2	2	5	4	3	3	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	23
中央	0	1	2	1	3	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	12
西部	3	2	3	1	6	2	0	0	4	1	0	0	1	1	0	0	24
北部	7	9	9	3	5	4	0	1	3	4	1	0	6	2	0	0	54
秩父	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6
計	12	16	24	12	22	13	1	2	12	8	3	0	10	3	1	0	139

4つの事業領域から拡がる無限の可能性と新たな展開に挑戦します。

- ★ アウトソーシングサービス
- ★ パッケージソリューション
- ★ アプリケーション開発

- ★ Webインテグレーション

Tic 株式会社 ティー・アイ・シー

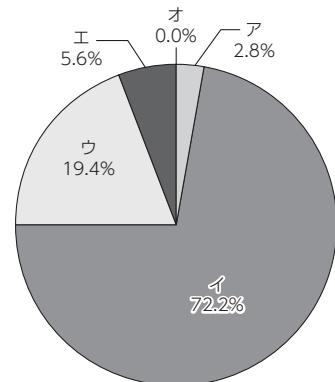
◆本社 〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷1-16-13 日本生命越谷ビル
TEL 0489-89-2111 FAX 0489-89-2333
URL <http://www.ticstage.co.jp>

・(社)埼玉県情報サービス産業協会会員
・FCA(富士通系情報処理サービス業グループ)会員
・昭和シェル石油(株)サテライトセンター
・富士通パートナー

VI. 情報セキュリティ対策について

1 セキュリティ対策や通常業務の電子化等への庁内の理解について

	回答数	割合(%)
ア. 非常に理解がある	1	2.8%
イ. やや理解がある	26	72.2%
ウ. あまり理解されていない	7	19.4%
エ. まったく理解されていない	2	5.6%
オ. 回答なし	0	0.0%
計	36	

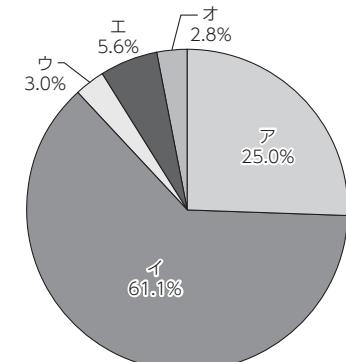


市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	
								南部	東部	中央	西部	北部	秩父	
市	1	19	2	0	0	22	南部	0	5	0	0	0	0	5
町	0	7	5	1	0	13	東部	1	4	1	0	0	0	6
村	0	0	0	1	0	1	中央	0	3	0	0	0	0	3
計	1	26	7	2	0	36	西部	0	6	2	0	0	0	8
							北部	0	7	3	2	0	0	12
							秩父	0	1	1	0	0	0	2
							計	1	26	7	2	0	0	36

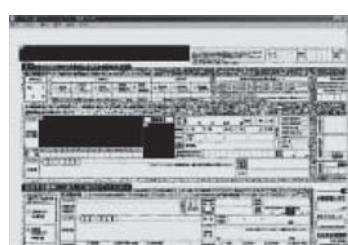
昨年調査時よりも更に、セキュリティ対策の重要性が庁内で理解されてきている結果となりました。

2 実施手順などの整備・運用

	回答数	割合(%)
ア. 厳密に運用している	9	25.0%
イ. 運用面で問題が多い	22	61.1%
ウ. 委託している部分は未整備であり不完全である	2	3.0%
エ. その他	2	5.6%
オ. 回答なし	1	2.8%
計	36	



昨年調査時よりも、運用面での問題を感じている団体が増えています。
実施手順策定後の見直し(PDCAサイクル等の手法活用)まで、なかなか手が回らない状況であると推測されます。



個人情報保護対応 電子帳票アウトソーシング支援ソフトウェア SecureImageConverter

御社のイメージファイルは安全ですか?
不安なことがありますら御相談ください

画像マスキング

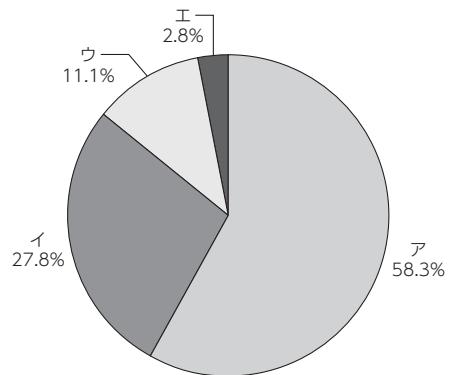
- 弊社取り扱い製品の一部
- ・イメージエンタリーシステムEM2000
 - ・在宅エンタリーシステム EM2000/SOHO
 - ・暗号化ソフトウェア OmegaCrypt
 - ・アンチウィルス自動更新機能内臓 ファイアウォール
 - ・インターネット対応デジタルビデオ監視カメラシステム
 - ・顔認証入退室システム

株式会社
HATSUOH-ELECTRONICS

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-8
電話 03-5645-1561 FAX 03-5645-1563
<http://www.hatsuoh.co.jp>

3 セキュリティポリシーの見直しについて

	回答数	割合(%)
ア. 実施した	21	58.3%
イ. 未実施	10	27.8%
ウ. その他	4	11.1%
エ. 回答なし	1	2.8%
計	36	



市町村別集計					
	ア	イ	ウ	エ	計
市	15	3	3	1	22
町	6	6	1	0	13
村	0	1	0	0	1
計	21	10	4	1	36

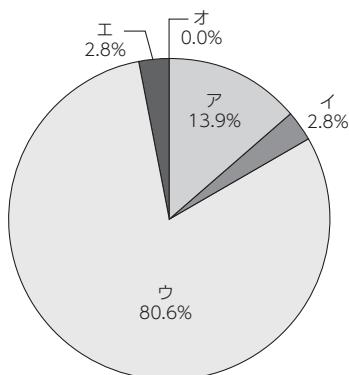
地区別集計					
	ア	イ	ウ	エ	計
南部	4	0	1	0	5
東部	3	3	0	0	6
中央	3	0	0	0	3
西部	2	3	2	1	8
北部	8	3	1	0	12
秩父	1	1	0	0	2
計	21	10	4	1	36

昨年調査時と比較すると、ポリシー見直しを実施した割合は約30%増となっています。

総務省「新ガイドライン」に沿った見直しが進んだものと思われます。

4. 職員へのセキュリティ研修等について

	回答数	割合(%)
ア. 未実施	5	13.9%
イ. 一度だけ開催した	1	2.8%
ウ. 定期的に研修する機会を設けている	29	80.6%
エ. その他	1	2.8%
オ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計						
	ア	イ	ウ	エ	オ	計
市	0	0	22	0	0	22
町	4	1	7	1	0	13
村	1	0	0	0	0	1
計	5	1	29	1	0	36

地区別集計						
	ア	イ	ウ	エ	オ	計
南部	0	0	5	0	0	5
東部	1	0	5	0	0	6
中央	0	0	3	0	0	3
西部	0	0	7	1	0	8
北部	3	1	8	0	0	12
秩父	1	0	1	0	0	2
計	5	1	29	1	0	36

実際にシステムを利用される職員に対する研修は、常に時代の変化に対応して柔軟に実施されるべきものです。特に、セキュリティ研修は繰り返し実施することが効果的であると言われており、定期的に研修機会を設けているとの回答が8割を占めている結果は大変良い傾向だと思われます。

経営戦略に基づいたシステムの立案から構築、運用・保守まで、あらゆるご要望に對して最適なサービスをご提供します。

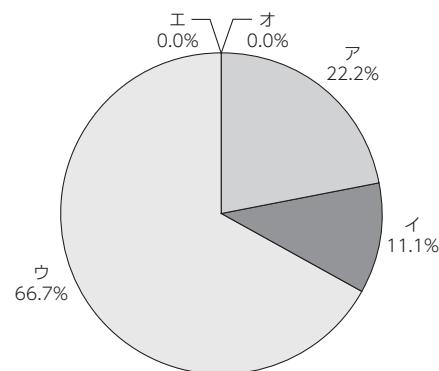


株式会社 フジミック埼玉

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-252 ユニオンビル2階
TEL : (048) 647-9200 FAX : (048) 647-9206
URL : <http://www.saitama.fujimic.com/>

5 第三者によるシステム監査の実施

	回答数	割合(%)
ア. 実施した	8	22.2%
イ. 実施を検討している	4	11.1%
ウ. 未定	24	66.7%
エ. その他	0	0.0%
オ. 回答なし	0	0.0%
計	36	

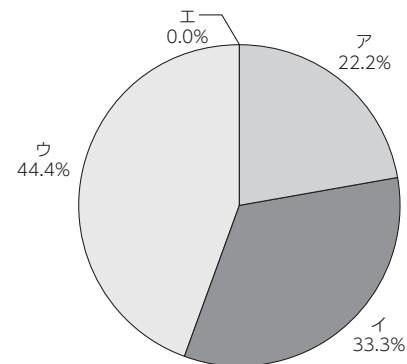


市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	
	市	町	村	計	南部	東部	中央	西部	北部	秩父	計			
	7	1	14	0	0	22		2	0	3	0	0	5	
	1	3	9	0	0	13		2	1	3	0	0	6	
	0	0	1	0	0	1		2	0	1	0	0	3	
計	8	4	24	0	0	36		0	1	7	0	0	8	
								1	2	9	0	0	12	
								1	0	1	0	0	2	
								計	8	4	24	0	0	36

第三者による監査など目的は、ポリシーの内容を評価するだけではなく、運用面での問題点を明確にし、その後の解決策を導き出すことがあります。昨年度よりも、若干ではありますが実施団体が増えております。しかし、運用面での大きな課題であることに変わりはありません。

6 業務継続計画（BCP）策定状況

	回答数	割合(%)
ア. 策定済	8	22.2%
イ. 作成中	12	33.3%
ウ. 未定	16	44.4%
エ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	計	地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	計
	市	町	村	計	南部	東部	中央	西部	北部	秩父	計	
	6	8	8	0	22		1	2	2	0	5	
	2	3	8	0	13		1	1	4	0	6	
	0	1	0	0	1		0	2	1	0	3	
計	8	12	16	0	36		3	4	1	0	8	
							2	3	7	0	12	
							1	0	1	0	2	
							計	8	12	16	0	36

平成21年2月に総務省より発表された「第二次情報セキュリティ基本計画」の中で業務継続計画策定の促進および同ガイドライン普及が示されています。

昨年調査時に比べると、策定済と作成中をあわせた割合が倍増しています。東日本大震災を経て、改めて業務継続の重要性が認識され、策定への動きが加速しています。

印刷

みんなが喜ぶ SAN^和の

地域社会貢献 **三方よし** 広告印刷

- 役所公用封筒
- 広告入り公用封筒
- 広告入り公用クリアファイル
- ダイレクトメール印刷
- イラスト名刺・3D名刺
- フルカラー封筒・はがき
- カタログ・会社案内
- コンピュータ帳票
- OCR、OMR帳票
- 圧着はがき
- ラベル・シール
- 感熱ロール・レジロール
- OAサプライ用品
- トナー・リサイクルトナー
- ユニフォームプリント
- タペストリー・のぼり・のれん・うちわ
- 飲食店メニュー・ショップカード
- 小ロットカラーチラシ・リーフレット
- 大判ポスター
- OAファニチャー

株式会社 三和システム

<http://www.sanwa-s-f.co.jp/>

公用封筒に広告を載せてみませんか！ SAN^和

●ボリオ(小児まひ)撲滅運動に協力しています。

●クリヤーファイル

●ホームページ作成

●各種カード

●各種贈答品

●ノベルティ商品(販促品)

●事務用品・事務機器

●看板、デジタルサイネージ 他

■ 本社 〒342-0001
埼玉県吉川市上内川228番地
TEL 048(992)0809(代)
FAX 048(992)1015

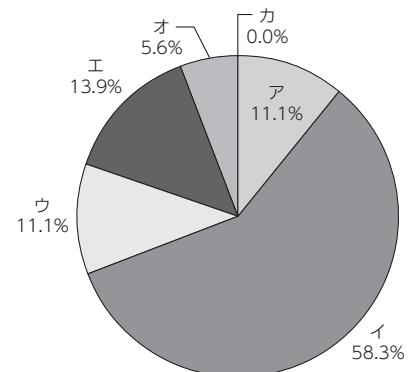
■ 営業本部 〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-1-10
カネヒロビル 8F
TEL 03(5833)3800


10190704(03)

VII. システムメーカーや開発会社・受託計算センターについて

1 主に契約している現在の企業について点数を付けるとしたら

	回答数	割合(%)
ア. 満足している	4	11.1%
イ. やや不満もあるが期待するものには応えている	21	58.3%
ウ. 不満はあるが現状を維持していく	4	11.1%
エ. 何かのキッカケで切り替えることを考えている	5	13.9%
オ. 既に他社に移行することを予定している	2	5.6%
カ. 回答なし	0	0.0%
計	36	



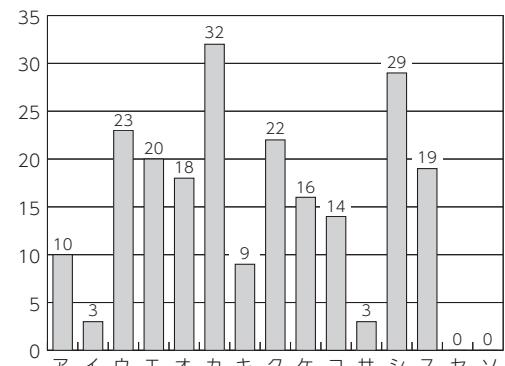
毎回同様の設問を用意しております。
背景に関しては、次頁の設問結果から
ある程度推察されます。

市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
市	3	11	4	3	1	0	22
町	1	10	0	1	1	0	13
村	0	0	0	1	0	0	1
計	4	21	4	5	2	0	36

地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
南部	2	1	1	1	0	0	5
東部	1	4	0	0	1	0	6
中央	0	1	1	1	0	0	3
西部	0	5	2	1	0	0	8
北部	1	8	0	2	1	0	12
秩父	0	2	0	0	0	0	2
計	4	21	4	5	2	0	36

2 企業に期待するものは（複数回答可）

	回答数	割合(%)
ア. より高い技術提供	10	4.6%
イ. 最新技術の研究と利用に前向き	3	1.4%
ウ. 納得感のある適正な見積書を提出してくれる（一式いくらでない）	23	10.6%
エ. 常に顧客に対して各種提案をし情報提供をしてくれる	20	9.2%
オ. 行政側の要望や悩みを会話の中で理解できる	18	8.3%
カ. スピード的な対応	32	14.7%
キ. 汎用性の高いシステム提供をしてくれる	9	4.1%
ク. メンテナンス費用の少ない対応	22	10.1%
ケ. 豊富な専門知識	16	7.3%
コ. 企業の信頼性とともに豊富に人材がいる	14	6.4%
サ. 協業などの方法による地元企業の育成に前向きである	3	1.4%
シ. 十分なサポート体制	29	13.3%
ス. いつでも連絡が取れる相手	19	8.7%
セ. その他	0	0.0%
ソ. 回答なし	0	0.0%
計	218	



前問とセットの内容です。市町村が企業に期待するものは、スピードと万全な支援体制にあり、更に明確な価格設定と運用コストの低減にあることが表れております。
各種のリアルタイムのサービス実現により、障害発生時のスピーディな対応とともに、安心できるサポート体制が、提供側である企業にとって一番の課題であることが推察されます。

市町村別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	計
市	7	3	14	12	12	20	7	14	11	9	3	19	12	0	0	143
町	2	0	8	7	5	11	2	7	5	5	0	9	6	0	0	67
村	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	8
計	10	3	23	20	18	32	9	22	16	14	3	29	19	0	0	218
地区別集計	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	計
南部	1	1	2	2	3	4	1	3	4	2	0	5	3	0	0	31
東部	0	0	4	4	2	6	1	3	1	1	0	5	2	0	0	29
中央	1	0	1	0	1	3	2	2	0	1	1	2	2	0	0	16
西部	2	1	6	4	5	7	3	8	5	3	1	7	5	0	0	57
北部	6	1	8	9	7	10	2	5	5	6	1	9	6	0	0	75
秩父	0	0	2	1	0	2	0	1	1	1	0	1	1	0	0	10
計	10	3	23	20	18	32	9	22	16	14	3	29	19	0	0	218

3. オープン回答内容

II. ホームページなど住民向け情報化について

3. 内容のレベルアップ予定（複数回答可）

- ・スマートフォン対応
 - ・なし
5. (SNS の利用状況について) 「利用している」もしくは「利用を検討している」具体的なサービスは何ですか。
- ・ブログ
 - ・U-Steram

III. 業務システムについて

1. 基幹（住記、税）システムへの取り組み状況

- ・特に決まっていない
- ・現状システム更改を機にオンプレミス型へ移行予定
- ・検討中
- ・稼働1年目であり、しばらく状況を見極める必要あり

2. 内部情報システムへの取り組み状況

- ・現状システム更改を機にオンプレミス型へ移行予定
- ・検討中
- ・共同化を検討

IV. システム開発、維持管理について

1. システム開発について

- ・ホスト系は職員が中心に対応している

2. システム運用について（複数回答可）

- ・一部の業務は委託している
- ・サービスとして提供
- ・職員が中心に対応しているものと外注しているものが混在
【今後の基幹システムの選定及び運用の在り方についてお考えをお聞かせください。】
- ・基幹システムの災害対策が喫緊の課題であり、サーバの外部設置を検討する中でクラウド化や共同利用を考えていく必要がある。
しかし、現行システムにおいて本市独自のカスタマイズが複数あり、システムの標準化が行えるかどうかによっても対応が変わってくるものと考える。
- ・標準で利用ができるようにパラメータの幅が広く、かつ、制度改正や住民ニーズに柔軟に対応ができるシステムを選定していきたい。
- ・オンプレミス型クラウドへ移行予定
- ・クラウドサービスを利用して、年々肥大化する運用経費を抑える方向性である。

3. 今後導入、または充実させたいシステムについて（複数回答可）

- ・情報系システムの共同利用
- ・セキュリティ対策

V. 電子自治体の構築について

1. 実現に向けての課題について

- ・実現するにあたり費用対効果

VI. 情報セキュリティ対策について

2. 実施手順などの整備・運用

- ・一部整備が不十分である
- ・整備中

3. セキュリティポリシーの見直しについて

- ・見直しを予定している
- ・状況に応じて見直している
- ・不定期に見直しを行っている
- ・未策定

4. 職員へのセキュリティ研修等について

- ・不定期に開催している

※このページには、オープン回答のお言葉をそのまま記載させていただきました。





三田電子ケイサン株式会社

お電話でのお問い合わせはこちラ

03-5983-8160

人と企業を結ぶ架け橋にー



豊富な求人情報!



充実のサポート!



安心のアフターフォロー!



一般労働派遣業 許可番号 般 13・090088

すべては、お客様の「満足」のために

All for Our Customers

ITサービスを通じてお客様の問題解決を図り、ミツイワは社会への貢献を続けています。

ミツイワ株式会社
 mitsuiwa

<http://www.mitsuiwa.co.jp>

本 社
関東営業部

東京都渋谷区渋谷3-15-6
埼玉県さいたま市浦和区仲町2-4-1

TEL:03-3407-2181
TEL:048-824-5911

協会加入の
あああめ

会員募集中

公益社団法人として、地域経済振興、情報高度化に向けて積極的な活動を推進しております。新たなステップに向けて仲間を募集しております。

会員企業並びに関連団体の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

**公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会****住 所**

〒331-0823
埼玉県さいたま市北区日進町
2丁目1864-10 SSC 5F
TEL 048-660-1761
FAX 048-654-4504

U R L

<http://www.sisia.or.jp/>

行事報告 (平成25年1月～3月)

	日付	行 事 名	担当部会等	参加者	場所・時間
1 月	4日	さいたま市新春名刺交換会	事務局	専務理事	パレスホテル大宮 12:00～
	8日	埼玉新聞社 賀詞交歓会	事務局	専務理事	ロイヤルパインズホテル 17:00～
	9日	JISA 賀詞交歓会	事務局	専務理事	帝国ホテル 17:00～
	10日	ビジネス部会	ビジネス部会	10名	SSC403号室 15:00～
		広報部会	広報部	5名	事務局 15:50～
	11日	商工団体等新春の集い	企画総務部会	会長他3名	知事公舎 12:00～
		NSA 賀詞交歓会	事務局	専務理事 今井理事	京王プラザ 17:00～
	15日	HP コンテスト委員会	HP コンテスト部会	5名	事務局 15:00～
	17日	理事・監事会	事務局	20名	パレスホテル大宮 13:30～
		HP コンテスト表彰式	HP コンテスト部会	87名	パレスホテル大宮 15:30～
		埼情協 賀詞交歓会	企画総務部会	137名	パレスホテル大宮 17:00～
	18日	神情協 賀詞交歓会	事務局	増古副会長 専務理事	ベイシェラトンホテル 17:00～
		求人部会	求人部会	5名	事務局 15:50～
	22日	埼玉日経懇話会	事務局	専務理事	大宮ラフォーレ清水園 16:30～
	23日	CSAJ 協会 賀詞交歓会	事務局	専務理事	帝国ホテル 17:00～
	28日	ビジネス部会	ビジネス部会	3名	事務局 15:00～
	30日～ 31日	彩の国ビジネスアリーナ2013	ビジネス部会	来場者 16,487名	さいたまスーパーアリーナ 10:00スタート
	30日	埼玉県主催「ビジネス懇談会」	ビジネス部会	会長他3名	さいたまスーパーアリーナ 16:45～
2 月	6日	第1回農業 IT カンファレンス	事務局	専務理事 他2名	関東経済産業局 13:15～
	7日	ANIA 拡大理事会	企画総務部会	専務理事	東海大学交友会館 16:00～
		ビジネス部会	ビジネス部会	7名	事務局 15:00～
	8日	ANIA 事務局長会議	事務局	内田事務局長	新橋ミーティングルーム 9:00～
		経営者セミナー	ビジネス部会	14名	浦和コミュニティセンター 13:15～
	15日	第19回ボウリング大会	厚生労働部会	88名	川口スプリングレーンズ 18:00～
	21日	ビジネス部会	ビジネス部会	6名	事務局 10:00～
		人材確保検討委員会	事務局	7名	事務局 14:00～
		部長会議	事務局	6名	事務局 15:00～
	26日	システム技術部会	システム技術部会		AGS(株)会議室 16:30～
3 月	5日	公社会員感謝の集い	事務局	専務理事	大宮ソニックスシティ 市民ホール 16:00～
	6日	首都圏情報団体協議会 幹部会	事務局	会長他 計3名	パンパシフィック横浜 16:00～
		共同求人就職セミナー	求人部会	6社	大宮ソニックスシティ 12:30～
	7日	ビジネス部会	ビジネス部会	9名	事務局 15:00～
	12日	求人部会	求人部会	9名	事務局 15:00～
	14日	人材確保推進検討委員会	人材確保委員会	6名	蓼科情報(株) 会議室 16:00～
	15日	埼玉県 IT 活用経営支援 ネットワーク会議	ビジネス部会	11名	埼玉会館 15:00～
	21日	IT 活用経営支援セミナー	ビジネス部会	62名	熊谷文化創造館 14:00～
	26日	埼玉日経懇話会	事務局	専務理事	ロイヤルパインズホテル 16:30～
	27日	ビジネスアリーナ実行委員会	ビジネス部会	専務理事	中小企業振興公社 10:30～
	28日	第5回理事・監事会	事務局	17名	SSC403号室 15:00～

賀詞交歓会



ホームページコンテスト2012表彰式



受賞者

会員企業動向

<住所変更>

○株式会社フジコミュニケーション

(新住所)

〒330-0844 さいたま市大宮区下町2-55 明邦下町ビルNo.18 5F

TEL 048-778-8776 FAX 048-643-5625

「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」の平成25年度研究開発課題の公募について

平成25年3月15日



関東総合通信局

総務省は、情報通信技術分野の競争的資金制度である「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（※1参照）」において、平成25年度から新規に実施する研究開発課題を以下のとおり公募します。

なお、本研究開発課題の公募は、平成25年度予算の成立後速やかに研究開発を開始できるよう成立前に実施するものです。また、今後の予算成立状況によっては公募内容に変更があり得ることをあらかじめご承知ください。

（詳細は、⇒ http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/01sotsu03_01000080.html）

1 制度の目的

SCOPEは、我が国の復興、再生はもとより、持続的な成長と社会の発展、安全で豊かな国民生活の実現等に積極的な役割を果たし、我が国の科学技術イノベーションの力を高めることを目的としています。

2 公募の対象

SCOPEでは、情報通信技術における12の研究開発分野（※2参照）の研究開発課題を公募します。

公募の概要、平成25年度からの新たな取組みは上記URLより

3 公募期間

平成25年3月18日（月曜日）から平成25年4月18日（木曜日）17時00分まで
(郵送の場合は、同日付必着)

4 応募方法

- (1) 応募に先立って、府省共通研究開発管理システム（以下「e-Rad」という。）[■](#)への事前登録を行ってください。
- (2) 応募は、「e-Radによる電子申請」を行うとともに、総務省への「提案書の提出」が必要です。

(3) 提案書の提出先は研究代表者が所属する機関の都道府県を管轄する各総合通信局等となります。

5 提案要領等

研究開発課題の提案要領、提案書作成要領は、以下のホームページに掲載します。

- ・総務省のSCOPEホームページ (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/)
- ・総務省の報道発表 (<http://www.soumu.go.jp/>)

6 問い合わせ先

ご不明な点に関しては、以下までお問い合わせください。

・提出先、提案書作成方法等について

関東総合通信局 情報通信部

情報通信連携推進課

電話：03-6238-1683

・電波有効利用促進型研究開発について

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課

電話：03-5253-5876

・電波有効利用促進型研究開発以外について

総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課

電話：03-5253-5725

【参考】

※1 Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme

※2 (1)ICTの活用による省エネルギー化・低炭素化、(2)ICTそのものの省エネルギー化・低炭素化、(3)ICTによる健康で自立して暮らせる社会の実現、(4)人と社会にやさしいコミュニケーションの実現、(5)安心とうるおいを与える情報提供の実現、(6)ネットワーク基盤、(7)ワイヤレス、(8)セキュアネットワーク、(9)宇宙通信システム技術、(10)革新機能創成技術、(11)通信・放送ネットワークの対災害性の強化等、(12)災害の状況を遠隔からリアルタイムに把握・分析等を可能とするセンサーネットワークの12の研究開発分野。

2013年度 能力開発セミナーのご案内

ポリテクセンター埼玉

ポリテクセンター埼玉では、在職者の皆さまを対象に、高度な技能・技術及び知識の習得を支援するため、ものづくり分野を中心に能力開発セミナーを実施しております。今回は、私たちの企画コースのうち組込み系およびIT技術に関するコースをご案内申し上げます。

また、ご案内以外にも企業の個別研修も承ります。お問い合わせお待ちしております。

コース名	マイコン制御システム開発実践技術（C言語・H8編）	受講料 ￥14,500
対象者	(定員10名) 一般的なC言語と組込み向けのC言語の習得をめざし活用する方	
日程	[コース番号 E019A] 4/16(火)-19(金)	[カリキュラム内容] (1) マイコン概要, アーキテクチャ, 命令セット (2) C言語制御構文およびプログラミング演習 (3) H8マイコンによる入出力制御
時間	9:15-16:00(休憩45分含む) 4日間 計24H	
使用機器	H8/3048F, PC	

コース名	Javaによる組込みのためのプログラム開発技術	受講料 ￥10,500
対象者	(定員10名) Java言語を使ってシステム開発を行っている方、または、これから担当する方	
日程	[コース番号 E020A] 5/14(火)-15(水)	[カリキュラム内容] (1) Java開発環境 (2) Java構文(クラスとオブジェクト) (3) Javaプログラミング演習
時間	9:15-16:00(休憩45分含む) 2日間 計12H	
*[E021A]を続けて受講されることをお勧めします。		

コース名	組込みシステムへのオブジェクト指向設計(UML) 適用技術(Java言語編)	受講料 ￥10,500
対象者	(定員10名) Java言語を使ってシステム開発を行っている方、または、これから担当する方	
日程	[コース番号 E021A] 5/16(木)-17(金)	[カリキュラム内容] (1) プログラム設計(UML基礎および実習) (2) プログラム開発(例題プログラム作成、評価) (3) まとめ(オブジェクト指向プログラミングの留意点)
時間	9:15-16:00(休憩45分含む) 2日間 計12H	
*[E020A]と続けて受講されることをお勧めします。		

コース名	組込みDBシステム開発技術	受講料 ￥10,500
対象者	(定員10名) データベース技術を習得したい方、更に理解を深めDB開発技術を習得したい方	
日程	[コース番号 E022A] 6/6(木)-7(金)	[カリキュラム内容] (1) データベース構築 (2) データベース操作(SQL) (3) データベース連携アプリケーション(WindowsCE)
時間	9:15-16:00(休憩45分含む) 2日間 計12H	
使用機器	SQLサーバ、WindowsCE	

コース名	マイコンによるシリアルインターフェース技法(C#,H8編)	受講料 ￥15,000
対象者	(定員10名) 制御システム開発業務に従事する方	
日程	[コース番号 E023A] 6/26(水)-28(金)	[カリキュラム内容] (1) C#文法 (2) H8マイコンプログラム開発環境 (3) H8マイコン-PC間RS232C通信プログラム作成
時間	9:15-16:00(休憩45分含む) 3日間 計18H	
使用機器	H8/3694F, Ms Visual Studio	

コース名	マイコン制御システム開発技術	受講料 ￥15,000
対象者	(定員10名) 制御システム開発業務に従事する方	
日程	[コース番号 E024A] 7/23(火)-25(木)	[カリキュラム内容] (1) H8マイコンプログラムの開発環境構築 (2) ペリフェラル等を使ったドライバプログラム作成
時間	9:15-16:00(休憩45分含む) 3日間 計18H	
使用機器	H8/3694F	

○お問合せ先:独立行政法人 高齢・障害・求職者 雇用支援機構 ポリテクセンター埼玉 訓練第二課	〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8 TEL048-882-4003/FAX048-882-4070
---	--

○能力開発セミナーの詳細な内容・他のコースは下記のWebページをご覧ください。
<http://www3.jeed.or.jp/saitama/poly/>（「ポリテクセンター埼玉」で検索できます）

<IT なんでも相談室>

経済振興・経営革新にIT利活用が大きな課題となっております。

政府・県も様々なIT関連施策を計画しておりますが、当協会でも中小企業の皆様のITに関するお悩み、IT投資など様々な問題についてご相談に応じます。

場所：〒331-0823 さいたま市北区日進町2丁目1864-10

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 事務局内



受付相談 専用電話 048(660)1788

■ ■ ■ 編集後記 ■ ■ ■

今年の新社会人は、厳しい就職状況を乗り越え約84万人の若者たちが社会人の仲間入りをしたとの報道がありました。円安・株高を背景に景気回復の期待が高まっていますが、実体経済を表す目立った改善は見えておらず不透明感も依然残っているような気がします。

そんな中、3月下旬に“微笑の国”タイへ行く機会がありましたので、大洪水でも進出ラッシュが続くタイを簡単に紹介したいと思います。

2011年に大洪水被害に見舞われたタイは、完全復旧には至っていませんが、昨年の中国における反日運動の影響もあり、日系企業の進出は更なる注目を集め衰えていないようです。洪水リスクを跳ね飛ばすタイの魅力とは何でしょうか？インフラ面（電気、水道、高速道路網）が整備され、産業集積が進んでいることだけではなく、「日本人になじみやすく、仕事がしやすいタイ人気質」にあるようです。タイの国民性は、1. センシティブでバランス感覚にすぐれ、対立を好みない 2. 人前での面子や侮辱に敏感な面がある、一方、相手の腹の内や気持ちを汲み取って理解する、日本的な感性が通じる…といった面があるようです。

東南アジア隋一の「ものづくり立国」であるタイですが、

生産拠点としてばかりではなく、メディカル・ツーリズムが成り立っていることにも触れておきたいと思います。

1.先進国並みの医療技術、看護レベル 2.外国人を受け入れるスタンダードなサービス 3.低価格化 により日本では考えられないくらいの大量の非医療職の職員を雇用し、きめ細かいサービスを提供しているようである。また、建物、施設も豪華な造りであり、大きな特徴の一つになっています。日本には国民皆保険制度があり、小負担で比較的良質な医療を受けられると、わざわざタイまで治療を受けに行く理由はないと思いますが、保険医療を受けられない特殊な分野は需要があると思われます。また、我が国が有する技術をアジア諸国の事情に最適化したシステムやインフラの形にして輸出し、国際展開する日も近いと感じられました。

尚、埼情協も毎年参加しているアジア・オセアニアコンピュータ産業機構（ASOCIO）主催のICT Summit2013は、タイ・バンコク（2013年9月）で開催されることが決定しております。日本企業が主導的役割を果たし、また日本企業を魅了するタイを訪問してみてはいかがでしょうか。

（深澤）

SAI-PRESS 編集委員

今 井 明（蓼科情報）
岩 寄 正（協会専務理事）
小 川 智 之（関東図書）
古 山 義 信（ボルボ・IT・ジャパン）
平 野 友 紀（メディア工房）
編集長 深 澤 陽 平（蓼科情報）
松 島 獲（デマンドアンドコミュニケーションズ）
吉 野 曜 男（AGSシステムアドバイザリー）
矢 吹 武 重（ミツイワ）
山 崎 喜久男（フジコミュニケーションズ）

★サイプレス年間広告掲載料

◇1頁 24万円 ◇1／2頁 12万円
◇1／4頁 6万円 ◇賀詞広告 1.5万円
(以上モノクロ。カラーは1頁30万円のみとなります)

★ホームページバナー広告（会員の場合）

◇6ヶ月 5千円 ◇1年間 1万円
サイズ 156×46ピクセル
容 量 15KB以内

（いずれもデータ支給の場合。協会制作の場合は別途料金申し受けます。）